



## 調査結果

### 1) 株数の年変化

シラン株数は、中学校が管理を始めた 2003 年以降、道の両側共で増加傾向にあったが 2006 年には減少した。特に、この傾向は北側で大きかった。北側の株数は 2006 年度以降、ほぼ横ばい状態であった。一方、南側の株数は 2008 年度にさらに減少したが、今年度は昨年度と比較し大幅に増加し、2003 年度以降最高値を記録した（図 1）。

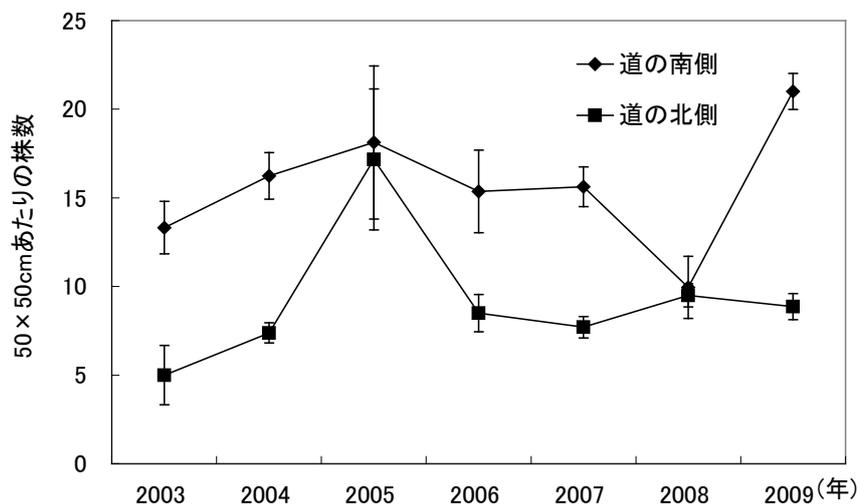


図1:シラン株数の年変化  
(縦線は、標準誤差)

### 2) 花茎のある株の割合

シランは 1 株につき 1 本の花茎がつく。50cm×50cm あたりの株数合計に対する花茎のある株数の割合を求めた（図 2）。花茎のある株数の割合は、中学校が管理を始めた 2003 年には、この割合は道の両側でほとんど違いはなかったが、その後は、道の北側よりも南側で高かった。南側の方が、栄養が多く花をつけられるようなシランに適している環境になっているように思われる。減少傾向にあった花茎のある株の割合が、2007 年は南側・北側ともに増加した。しかし、2007 年度以降は減少傾向にある。今年度においては、南側の方が減少の割合が大きかった。

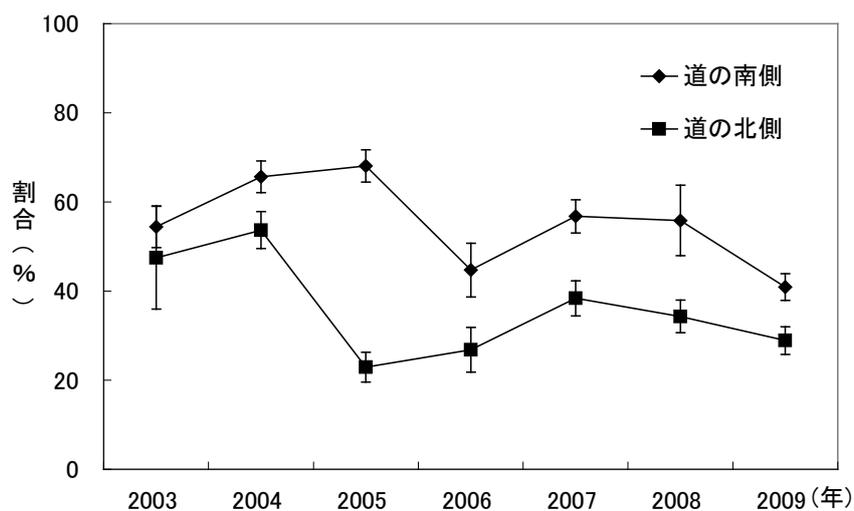


図2: 花茎のある株の割合  
(縦線は、標準誤差)

### 考察

北側の株数、花茎のある株の割合は安定している。南側の株数は、2005 年度以降減少傾向が続いていたが今年度において大幅に増加した。この増加の要因として、昨年度にシランが日当たりの良い環境を好むことから、日陰をつくっていたノイバラを伐採したことに起因する可能性がある。一方、花茎のある株の割合は減少した。これは、前述したように南側の方がシランにとって好環境であると思われるが、株数の大幅な増加により、主に栄養は株の生育に使われているのかもしれない。

今後もモニタリングを継続し、施工された管理方法が妥当かどうか検証する必要がある。

<b>横浜自然観察の森内のアカガエル卵塊数調査(2010)</b>		
篠塚 理・杉崎 泰章・布能 雄二・大沢 哲也 (横浜自然観察の森友の会 森のカエル調査隊)		
<b>調査場所</b> 横浜自然観察の森の水辺(生態園の池、センター横のプランター、センター裏の池、ヘイケボタルの湿地、ミズスマシの池、ゲンジボタルの谷、水鳥の池、トンボ池、アキアカネの広場の水たまり)		
<b>調査日</b> 2010年1月16日～4月10日 概ね隔週1回の計8回		
<b>調査開始</b> 2007年	<b>次年度</b> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">継続</span> / 終了	<b>終了予定</b> 2013年
<b>調査目的</b> 円海山域のアカガエルの卵塊数調査が、大澤によって1998年から2000年に渡って行われており、横浜自然観察の森が約450卵塊と最も多いと報告されている。(調査報告5)引き続き松田により、2002年から2006年に横浜自然観察の森内のアカガエルの卵塊数調査が行われた。(調査報告10) 2007年から、森のカエル調査隊が松田の調査を引き継ぎ、年毎の卵塊数の変化を明らかにする為、2010年も継続して横浜自然観察の森内の水辺で、アカガエルの卵塊数調査を行った。		
<b>調査方法</b> 調査場所としてあげた水辺を、隔週1回巡回し、まとまった形の卵塊を計数した。4月に入って新たな卵塊が計数されなくなるまで調査を行った。卵塊は産卵後しばらくまとまった形を保っているが、産卵場所と卵塊数を略図におとし、次回調査する際に重複しないよう考慮した。またヤマアカガエルは先に産みつけられた卵塊の近くに重ねて産卵することがあるため、卵塊が重なっている場合は、計数するにあたり、複数の調査者の目で確認し、調査日による判断の差異が発生しないように注意した。卵塊がニホンアカガエルのものかヤマアカガエルのものかの識別は、卵塊を持った際のぬめりの残り方や弾力性によって判断できると言われており、ニホンアカガエルは調査中に観察できなかった。		
<b>調査結果</b> 横浜自然観察の森内で、2010年の1月から4月にかけて、ヤマアカガエルの卵塊を298個確認した。 ヤマアカガエルの卵塊数の場所別・年度別推移を表1に示す。		

表1 横浜自然観察の森 ヤマアカガエル卵塊数 調査場所別・年度別推移

調査場所	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	2010年
生態園	31	12	9	11	3	14	8	6	6
センター裏	0	0	0	1	1	1	1	2	1
ヘイケの湿地	57	57	86	390	374	279	240	234	196
ミズスマシの池	1	0	0	0	1	1	0	1	0
ゲンジの谷	2	12	5	7	5	8	11	2	7
トンボ池	24	65	34	66	52	158	152	115	82
アキアカネの丘	4	1	4	3	2	8	0	1	0
水鳥の池2	61	27	28	13	23	49	59	8	3
水鳥の池3	9	0	0	0	1	8	1	0	3
合計	189	174	166	491	462	526	472	369	298

ヤマアカガエルの卵塊数の調査日別推移を図1に示す。

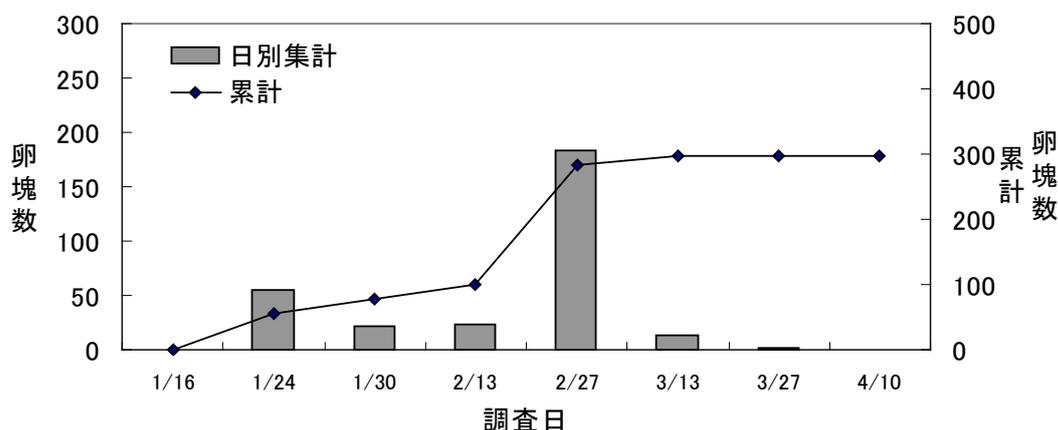
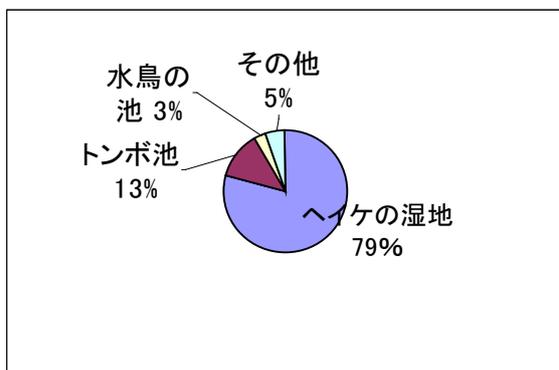


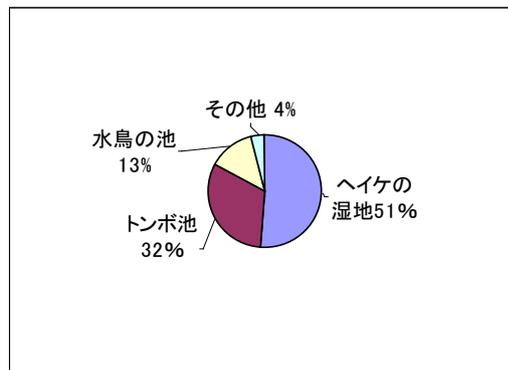
図1 2010年ヤマアカガエル卵塊数 調査日別推移

ヤマアカガエルの卵塊数の場所別 産卵数割合をグラフ1からグラフ3に示す。

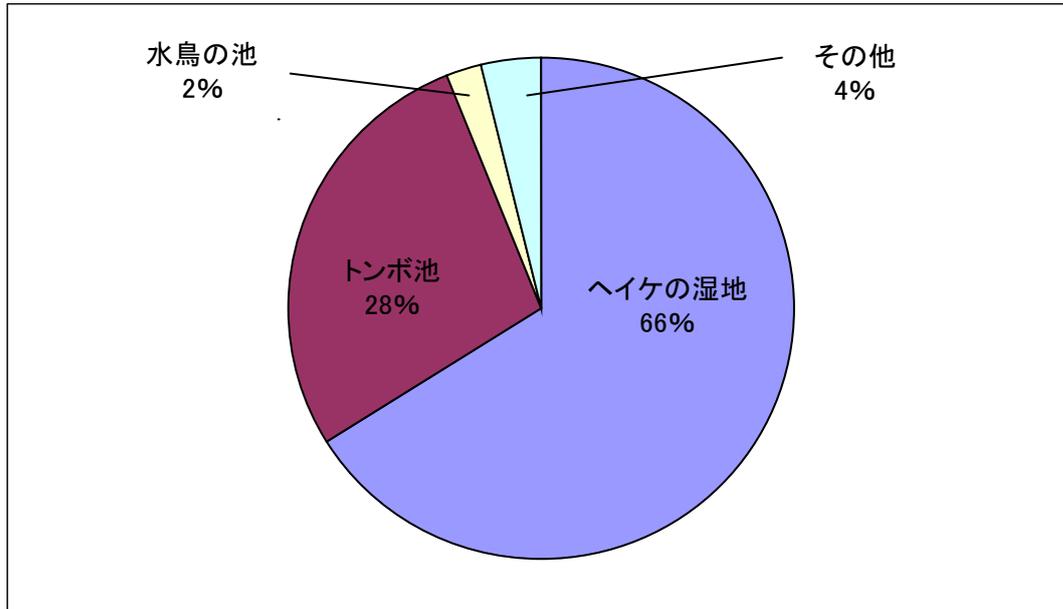
グラフ1 2005年



グラフ2 2008年



グラフ3 2010年



水鳥の池は2005年から2008年にかけて、観察の森全体の産卵数に占める卵塊数のシェアが増加していたが、2009年に水鳥の池の水がなくなった影響のためか、2010年は極端にシェアが低下した。

### 感想（調査を終えて）

今シーズン確認できた卵塊数は298個でした。昨年は369個でしたので、若干少なめです。今年の特徴は、

1) ヘイケの湿地のオタマジャクシが少ない

ヘイケの湿地の卵塊数は234→196で昨年より若干の減少ですが、最終日（4/10）の調査のとき、例年に比べてずいぶんオタマジャクシが少ないなと感じました。

（あくまでも感覚ですが）例年との環境の違いで気づいたことは4点

- ①タニシが多い
- ②水が少ない
- ③ガスが発生している（水底の土の中からポコポコと）
- ④緑色の藻が多い

ですが、オタマジャクシの数との因果関係については不明です。

2) 水鳥の池のオタマジャクシは全滅

昨年の池の水がなくなって全滅したのに引き続き、今年も卵塊が6個と少なかったうえ、

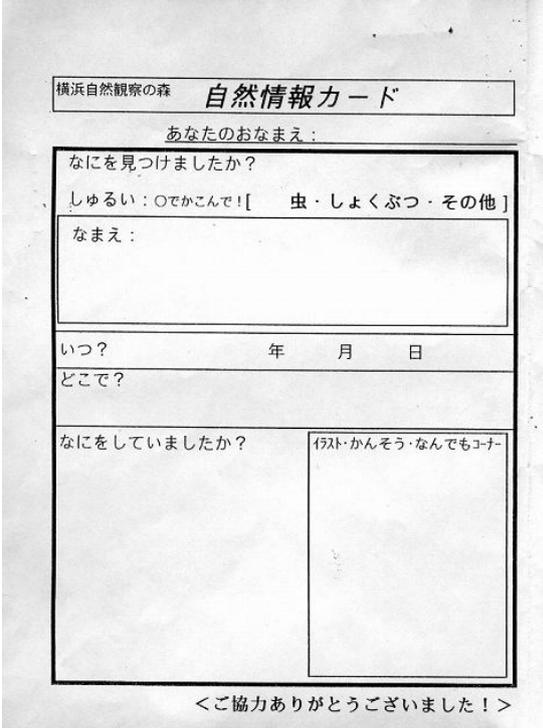
2年連続でオタマジャクシは全滅しました。

3) ゲンジとトンボのオタマジャクシは元気

### 参考情報

ヒキガエルの卵のうを、ミズスマシの池と水鳥3で発見。

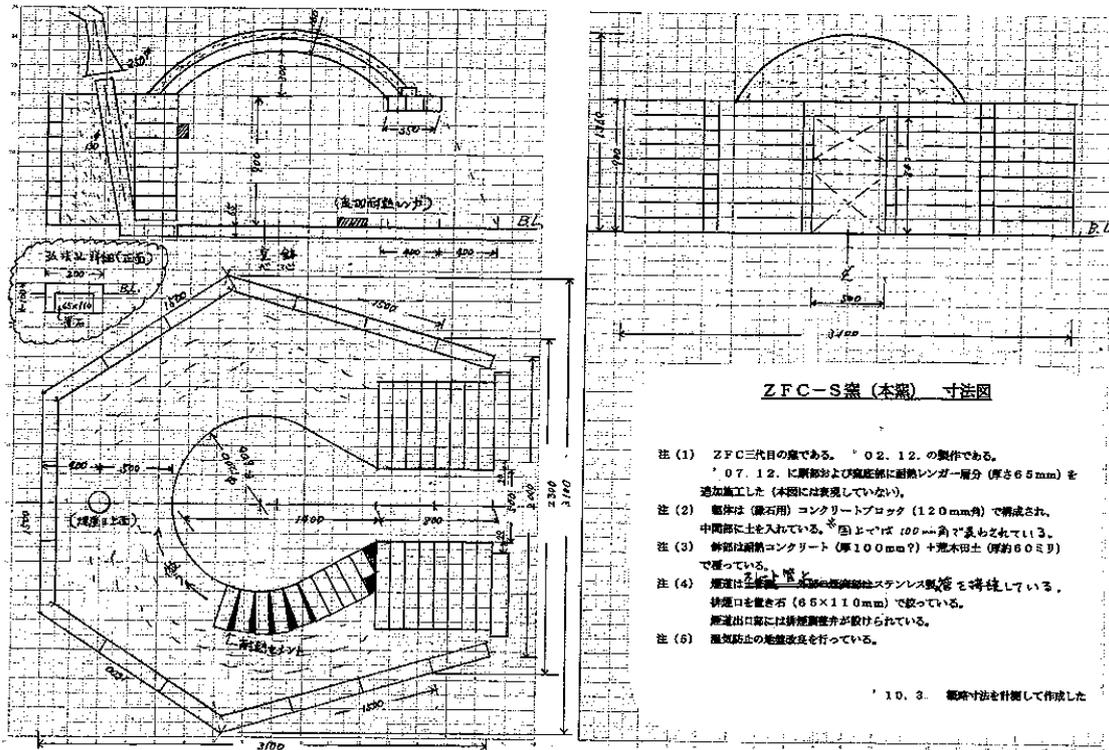
<b>環境写真記録調査</b>			
柴田 英美((財)日本野鳥の会 サンクチュアリ室)			
<b>調査場所</b> 上郷森の家テラス			
<b>調査日</b> 2008年3月12日、2009年3月16日			
<b>調査開始</b> 1986年	<b>次年度</b> 継続	<b>終了予定</b>	一年
<b>調査目的</b>			
<p>環境の写真を記録することにより、園内の環境をモニタリングする。今回は竹林の面積のモニタリングを環境写真により行った。</p> <p>2000～2001年の伐採により竹林面積は縮小したが、(2001年度調査報告参照)、2007年度の調査結果より(2007年度調査報告参照)、竹林面積は1994年と比較して約3倍、2001年と比較して約2倍拡大していたため、竹林の拡大を抑えるため、2009年2月に業者によって竹林約100本の伐採が行なわれた。しかし、撮影写真からは竹林面積に変化は見られなかった。</p> <p>2001年以降、横浜自然観察の森友の会の「雑木林ファンクラブ」が年に1回ほど間伐を行っており、今年度は安全に管理できる平地部分の大規模な伐採を行った。竹林面積がどの程度変化したかを明らかにするために下記の調査を行った。</p>			
<b>調査方法</b>			
<p>① 森の家テラスより、コナラの林の竹林を撮影した。</p> <p>② 写真を拡大コピーし、竹林部分の面積を測定した。</p>			
<b>調査結果</b>			
<p>撮影された写真から認識できた竹林の面積は、2008年度と比較すると約98%と減少していた。今年度の雑木林ファンクラブによる伐採は、昨年度の業者による伐採と比較すると非常に小規模の伐採であった。それに関わらず、昨年度の写真による竹林の面積の比較で変化が見られなかったのは(2008年度調査報告参照)、写真の撮影の向きなどによる要因で、撮影できない部分があったことが可能性として考えられた。</p>			

<b>自然情報収集調査</b>			
香山 正幸((財)日本野鳥の会 サンクチュアリ室)まとめ 来園者・ボランティア・レンジャーなど職員			
<b>調査場所</b> 園内全域			
<b>調査日</b> 通年			
<b>調査開始</b> 1986年	<b>次年度</b> 継続	<b>終了予定</b>	一年
<p><b>調査目的</b></p> <p>自然・生物の情報を収集し、自然解説・行事、一般来園者へのサービスとして活用する。また、生物リストや生物暦等の自然史資料を作成する際の資料とする。</p> <p><b>調査方法</b></p> <p>来園者、レンジャーなど職員、ボランティアの確認した生物の情報を、収集した。情報は、種別・種名・確認年月日・確認内容・記入者を所定のカード(図1)に明記してもらった。これらの情報を月別に、綱別にまとめた。</p> <p><b>調査結果</b></p> <p>情報はカードに記入し、このカードは、展示コーナーの自然情報ボードに最新情報として展示した後、閲覧できるようにファイルした。また、情報は入力して蓄積し、2009年度版自然情報集を作成して、閲覧できるようにした(資料参照)。</p>			
<p>図1. 自然情報カード</p>			

<b>2009 年度 炭焼き実績</b>			
佐藤 栄一・鬼塚 和明 (横浜自然観察の森友の会 雑木林ファンクラブ)			
<b>調査場所</b>	炭焼き小屋		
<b>調査日</b>	2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日		
<b>調査開始</b>	2002 年	次年度 継続	終了予定 ー 年
<b>調査目的</b>			
<p>自然観察の森の保全管理の過程で間伐された木材・竹材の有効活用の一つとして、炭焼きを行っている。</p> <p>炭焼きは、煙の色と臭いと量で進捗具合を判断するのが基本中の基本とされているが、長年の経験と勘が必要であり現在では習得の難しい技能である。そこで補助的手段として、炭焼き窯に温度センサーを設置し温度変化を見ながらコントロールする方法が行われている。</p> <p>炭焼き記録を残し、多くの人が良い炭を手軽に焼けるようにすることを目的とする。</p>			
<b>調査方法</b>			
<p>1 炭焼き窯は、出炭量 50 kg 程度の小型観察窯（本窯一次頁 図）1 基と出炭量 10kg 程度のステンレス製ドラム缶窯 2 基を有している。</p> <p>2 温度センサー設置箇所                      本窯：煙突付け根部、 窯中央の天井から 200mm 下の 2 か所                      ドラム缶窯：煙突付け根部のみ</p> <p>(注) 本窯中央の位置は 2007 年 12 月 15 日の炭焼き前は天井から 600mm の位置（高さも中央）に設置していた。したがって、この前後の時期では、温度分布には差がある。</p> <p>変更理由：600 mm だと煙突温度と窯中央温度に差が出るのに数時間かかり、判断の補助にしにくかった。</p> <p>3 どんな温度変化が最適かは窯の性格(年令、状況)・センサーの位置・材の種類・材の育成地と育ち・材の間伐時期・間伐後の期間・含水率・窯の詰め方・炭焼経過・総時間・精煉等々に影響されると考えられ、簡単なことではない事は予想されるが、極力データを集積する。</p>			

# 調査結果

## 1 本窯



### (1) 炭焼き実績

	炭焼日	炭材	投入量/出炭量 kg (%)	標準酢液
1	4.18	モウソウ竹	258/— 未炭多	36ℓ
2	7.11,12	トウネズミモチ(丸)	342/60.2 (17.6)	55ℓ
3	10.24,25	トウネズミモチ(丸)	310/49.2 (15.9)	60ℓ
4	12.19,20	トウネズミモチ(丸・割)	326/33.9 (10.3)	60ℓ
5	'10.2.13,14	トウネズミモチ(丸・割)	313/55.9 (17.9)	60ℓ

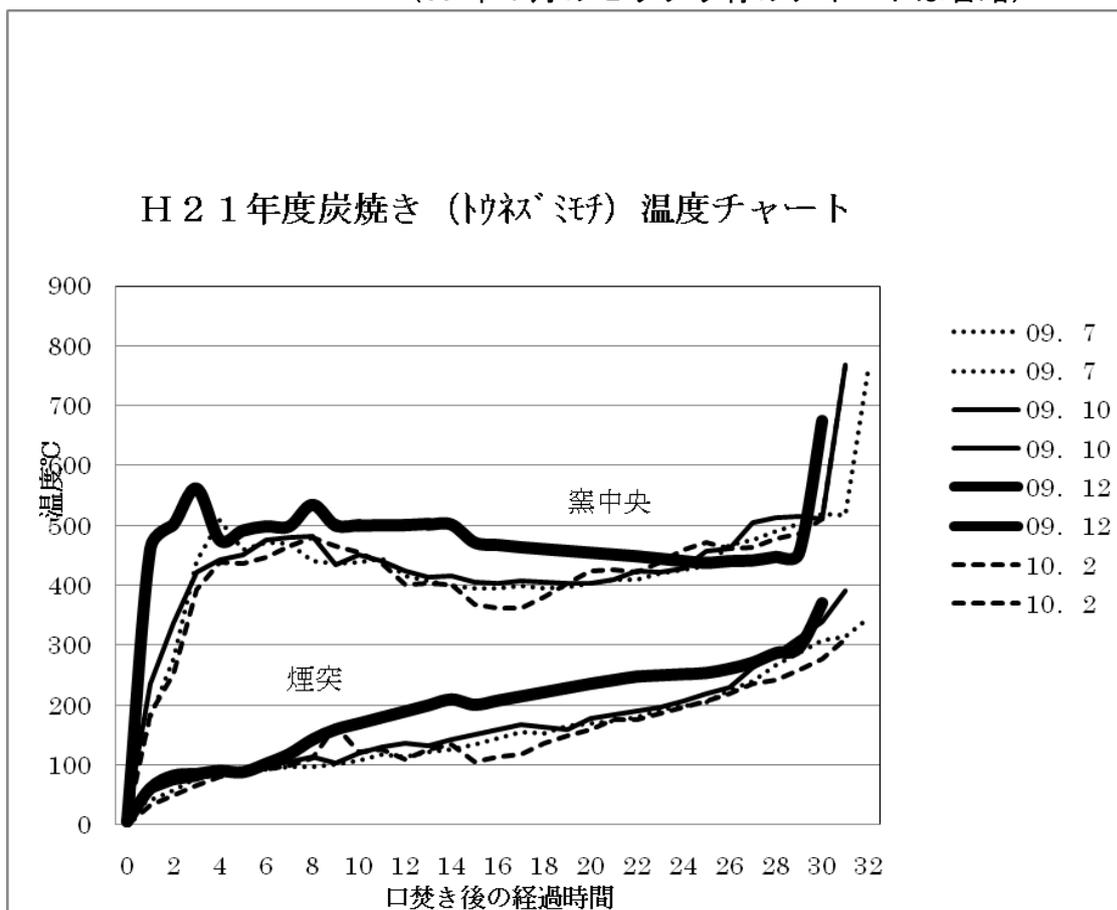
(続き)

	炭焼総時間	炭の出来具合	備考
1	9:40	不可 一日の制限で焼いたが温度上げきらず。未炭多。	後日再焼。
2	30:30	可 太物も一部原形を保った。(写真)	4回とも 間伐時期 '08年秋
3	30:20	可 太物も原形を保った。	
4	29:07	可 軟炭。出炭率も悪い。	
5	30:10	良 50~60φの一部は皮つきで原形を保つ。(写真)	

\* 標準(木酢液 竹酢液)とは、煙突温度が80℃~150℃の時に採取した液をいう。80℃未満の時の液は水分が多いし、150℃以降の液は有害物質が含まれやすいと云われる。

## (2) 温度チャート

(09年4月のモウソウ竹のチャートは省略)



## (3) 考察

### A 4月18日 モウソウ竹について

- ① 竹を一日(10時間程度)で仕上げる積りであったが未炭が多い結果になってしまった。後日再焼き(6月)。

煙突温度が上がらないので、送風ファンも継続して使用したが、窯中央のみ上がり(最終725°C)、煙突温度は上げきらずに(最終187°C)窯を閉じた。

- ② 熱が窯底全体に伝わらずに逃げてしまった感じがする。

上げ木が少なかったなので、上部に熱の通り抜け道ができてしまったのかもしれない。

次回は上げ木を確実に入れるのと、温度を高めを設定して焼いてみる。

煙突の弁を絞るべきであった? ファンを使い過ぎた?

過去の実績を調査し、良例があれば参考にする。

### B トウネズミモチ(4回実施)について

この一年は、煙突温度は24時間後で200°C狙いとしているが(過去の好例から)、こちらは如実な傾向がみられる。

- ①4回の使用炭材は同一時期に(08年秋)間伐された物である。  
②09年12月の煙突温度(太線)は他より約50°C高く推移した。

その結果の炭は軟炭でまた出炭率も悪かった。

明らかに燃やし過ぎであろう。

- ③ 一方、10年2月は木の乾燥度も増した悪条件だったので、温度を気持ち抑え気味にして焼いた。その結果は炭の出来・出炭率ともに一番よかった。
- ④ 「温度を抑えてじっくりと焼くのが良い炭を焼く条件」とは言われているが、その通りの結果と言えよう。
- ⑤ ただし、我々の炭焼きには30時間程度で焼くという条件が加わる。温度を抑えながらいかに時間内で終了するかが課題となる。
- ⑥ 煙の状態をみて、今、窯の中はどんな状態か（ヘミセルロースの炭火は始まったか？セルロースも炭化がはじまったか？リグニンが炭化したな？等々等々）を想定しつつ温度を関連付けしていければ理想的だが・・・

## 2 ドラム缶窯

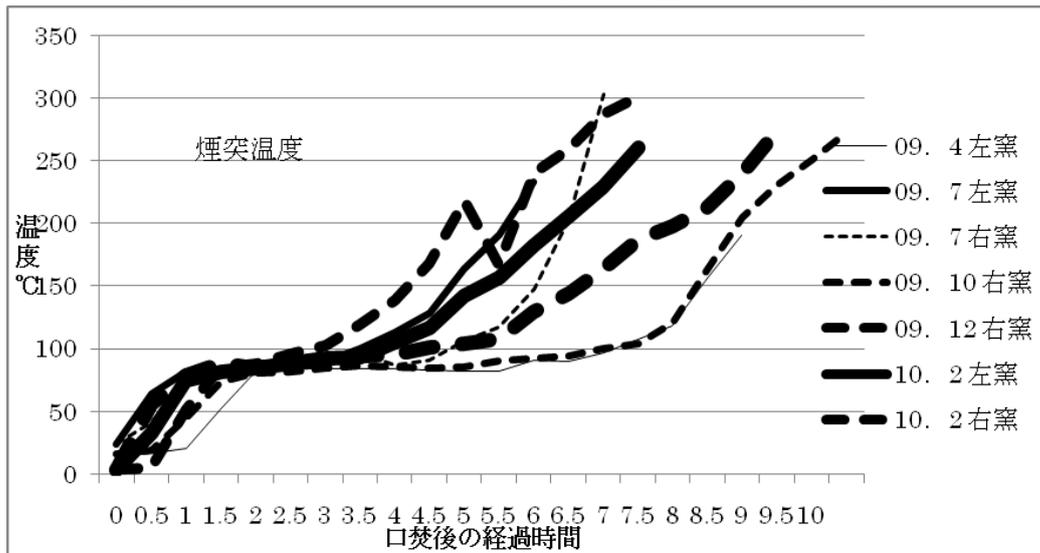
### (1) 炭焼き実績

	炭焼日	窯	炭材	投入量／出炭量 kg (%)	標準酢液
1	4.18	左窯	モウソウ竹	77/12 (16)	4.2 l
		右窯	モウソウ竹	77/— 未炭多	4.0 l
2	7.11	左窯	モウソウ竹	51/7.1 (14)	3.0 l
		右窯	モウソウ竹	49/7.5 (15)	3.0 l
3	10.24	左窯	トウネズミモチ	53/11.8 (22)	3.7 l
		右窯	モウソウ竹	55/16.4 (30)	3.6 l
4	12.19	左窯	クヌギ	47/6 (13)	5.0 l
		右窯	モウソウ竹	43/6 (14)	2.5 l
5	'10 2.13	左窯	モウソウ竹	53/11 (21)	5.2 l
		右窯	モウソウ竹	53/9.7 (18)	4.5 l

(続き)

	窯	炭焼総時間	炭の出来具合 他	
1	左窯	9 : 40	可	時間切れ最終温度 190℃
	右窯	—	不可	時間切れ、温度 82℃まで 後日再焼
2	左窯	6 : 45	可	商品には今一息
	右窯	7 : 05	可	商品には今一息 最後までファンで送風
3	左窯	8 : 00	可	
	右窯	10 : 30	可	出炭率良過ぎ。計量？
4	左窯	13 : 15	可	焼き過ぎ 温度チェック見過ごし
	右窯	7 : 15	可	間伐1カ月程の材なので温度高めに焼いた
5	左窯	7 : 45	良	商品になる。出炭率も良好
	右窯	9 : 40	良	商品になる。出炭率も良好 間伐後4カ月程の材、緑色

(2) 温度チャート (竹のみ 実線：左窯 破線：右窯)



(3) 考察

このグラフから何を読み取るかは難しいが、無理を覚悟で何点か特徴的なことを述べる。

- ① 従来から、なぜか左窯のほうが火付が良く、早く終了する。  
同一条件で1~2時間の差がでる。4月の右窯は火が付ききらず消えてしまったし（再口焚きをすべきだった）、7月の右窯は、燃えが悪いので、ファンで送風をし続けた。  
地下水等が影響しているとも思えないし、不思議の一つ。  
同じように見えて、同じように焼いても結果は違う好例。
- ② 10年2月の左／右窯の出来が最も良いし、出炭率も適正（グラフの中央の太い実線と破線）。炭材は間伐後3~4カ月のもので、肉厚のあるものを主にした。  
材の乾燥度（含水率）と焼き方がマッチングしたといえるようだ。  
（木では、間伐後一カ月位した含水率30%程度のものが良いと云われる）  
12月の右窯は一カ月程度の材（10年2月と同材）なので、高めに焼いたが、そのせいでか出炭率が低い。  
（\*4月、7月、10月の材の間伐時期は把握していなかった）
- ③ 12月の仕上がりの早かった例、4月の仕上がりの遅かった例から何か云えないかと頭をひねるがまとまる話にならない。

明快なことが言えないので歯がゆいが、今後も炭焼きを続けていく中で、煙の観察と併せてより良い条件を探っていきたい。

<b>行事効果測定調査</b>	
渡邊 初恵 ((財)日本野鳥の会サンクチュアリ室)	
<b>調査場所</b>	横浜自然観察の森
<b>調査日</b>	2009年10月1日～10月31日(休館日を除く)
<b>調査開始</b>	一年 次年度 終了 終了予定 一年
<b>調査目的</b>	
2008年度まで10年間続けた恒例行事「円海山オリエンテーリング」を終了し、新規に行った行事「大丸山に登ろう月間」の参加者層を明らかにする。	
<b>調査方法</b>	
<p>一般市民を対象としたハイキング型行事「大丸山に登ろう月間」(27日間実施)において、参加者538人に対して、行事終了後、アンケート調査を行った。「大丸山に登ろう月間」とは、市内最大の緑地の一角にある金沢自然公園ののほな館と横浜自然観察の森を結ぶコース上に様々な生きものや自然に関する設問や解説の看板を10枚設置し、クイズなどを解きながら歩くハイキング型の行事でののほな館と横浜自然観察の森のどちらからでもスタート・ゴールできる。</p> <p>なお、アンケートの配布方法としては「こども用シート」と「大人用シート」の2種類を1人1枚配布した。子供用シートでは名前、年齢、感想の設問をもうけたが、本行事の参加者層を明らかにするため、今回は年齢のみ集計を行った。なお、大人への設問は以下の通りである。</p>	
<p>【大人用シート】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感想</li> <li>2. お住まい(横浜市内( )区)・横浜市外</li> <li>3. 今日歩いた円海山周辺の緑地にきたのは何回目か?</li> <li>4. このイベントをどこで知ったか?(現地で知った/ちらし/その他)</li> </ol>	
<b>調査結果</b>	
回収したアンケート数はこども用72枚、大人用135枚であった。	
子供の年齢内訳としては11歳の21%(14名)がもっとも多く、続いて7歳、8歳が16%(11名)、9歳が14%(10名)となった(図1)。	
大人用シートを集計した結果、参加者は円海山周辺に隣接した4区の住民(磯子区、金沢区、港南区、栄区)の合計が全体の58%(76名)を占め、中でも金沢区が32%(41名)と最も多かった。その他の横浜市内からの参加は21%(28名)であり、市外からの参加は21%(27名)、未回答は3%(4名)であった(図2)。	
円海山周辺の緑地に来たことがある回数については、初めてが43%(56名)、1回以	

上10回未満が25%（32名）、10回以上30回未満が8%（10名）、30回以上100回未満が2%（3名）、100回以上が4%（5名）、その他（数十回・時々・毎日等）18%（23名）、未回答が4%（6名）であった（図3）。

本行事をどこで知ったかについては、現地で知ったが56%（72名）と一番多く、続いて新聞とその他（知人からの紹介・ミニコミ誌等）が12%（16名）、ちらしが11%（15名）、インターネットが9%（12名）、未回答が3%（4名）であった（図4）。

#### **考察：**

子供の年齢層としては、11歳がもっとも多く、続いて7歳、8歳、9歳、10歳が多く、小学校低学年～中学年の子供がいる家族が多く参加していると考えられた。この傾向は2004年度、2006年度と同様であるが（渡邊 2004、2006）、11歳の参加が多いことは初めてであった。前年度まで行っていた「円海山オリエンテーリング」と比べるとコースの距離が長くなり、中学年以上の子供の参加が多くなったと考えられる。

参加者の在住地域内訳としては、近隣4区（磯子区・港南区・栄区・金沢区）が参加者の半分以上を占めており、その中でもスタート・ゴールの地点である「金沢自然公園ののほな館」が立地している金沢区の住民が最も多く参加していた。市外からの参加者は2006年度調査の25%と比べ、21%と変化は見られなかった。この結果は円海山周辺の緑地が磯子区・港南区・栄区・金沢区以外の鎌倉市にも隣接していることが挙げられると考えられる。

円海山周辺の緑地に来たことがあるかには、43%の方が初めてと回答した。この結果から、今後も近隣住民に効果的な広報が必要だと思われる。

広報媒体に関しては、現地で知ったという声が一番多く挙げた。事前に行った新聞掲載、ちらしの配布、インターネット掲載などのいずれも効果が薄く、事前の広報をさらに力を入れて行っていく必要性を感じた。

#### **引用した本・文献**

渡邊初恵. 2004. 行事効果測定調査 横浜自然観察の森調査報告書10 : P94-95

渡邊初恵. 2006. 行事効果測定調査 横浜自然観察の森調査報告書12 : P70-75

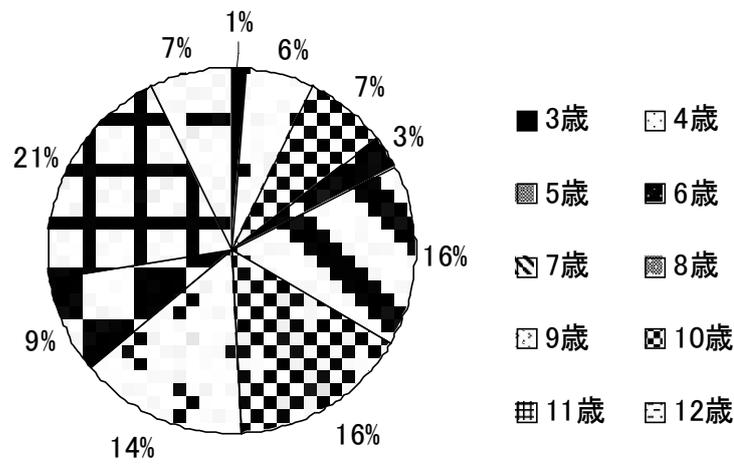


図1.子供参加者の年齢内訳

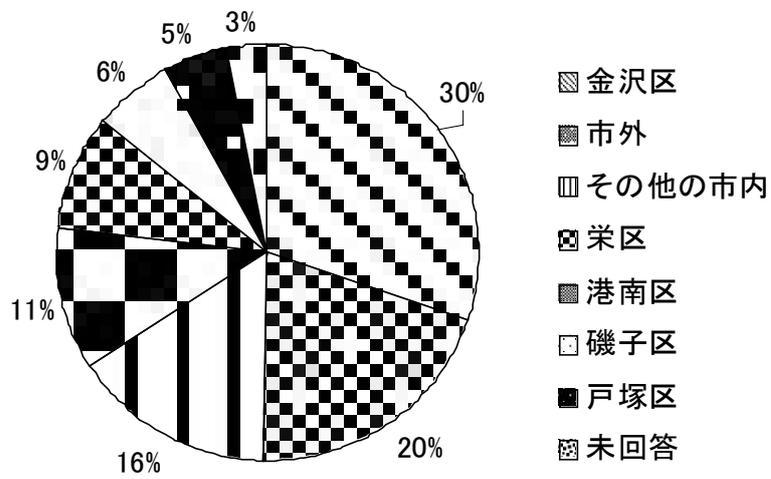


図2. 参加者地域内訳

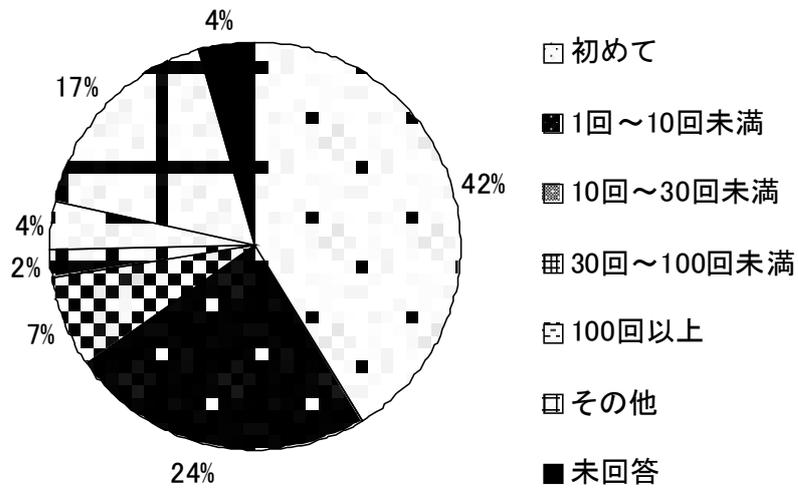


図3. 円海山緑地に来たことがある回数

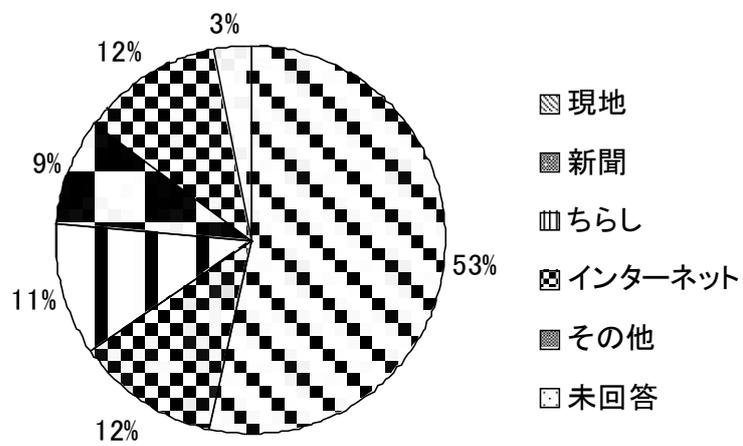


図4. 広報媒体

横浜自然観察の森友の会会員動向調査			
山口 博一(横浜自然観察の森友の会)			
調査場所	横浜自然観察の森		
調査日	2009年3月～2010年3月		
調査開始	1986年	次年度 継続	終了予定 一年
<b>調査目的</b> 施設のボランティアグループ「横浜自然観察の森友の会」の会員動向を把握し、施設の事業を推進していく上での基礎資料とする。			
<b>調査方法</b> 会員名簿管理担当理事より氏名等個人情報削除した会員データの提供を受け、そのデータをもとに「会員数の変化」「入会年別会員数」「会員年齢分布」「2009年度会員内訳」の4項目についてデータを分析し、まとめた。			
<b>調査結果・考察：</b>			
1) 会員数の変化 (図1) 2009年度の会員数は172名であった。昨年の184名から減少しているが、減少の割合は徐々に緩やかになっている。			
2) 入会年別会員数 (図2) 2009年度は10名であった。入会5年までの継続更新の割合は比較的高い。			
3) 会員年齢分布 (図3) 60代の会員が最も多く、次いで70代、40代、50代の会員が多かった。			
4) 2009年度会員内訳 (図4) 入会会員内訳をみると、男女ともに60代の会員が多かった。			

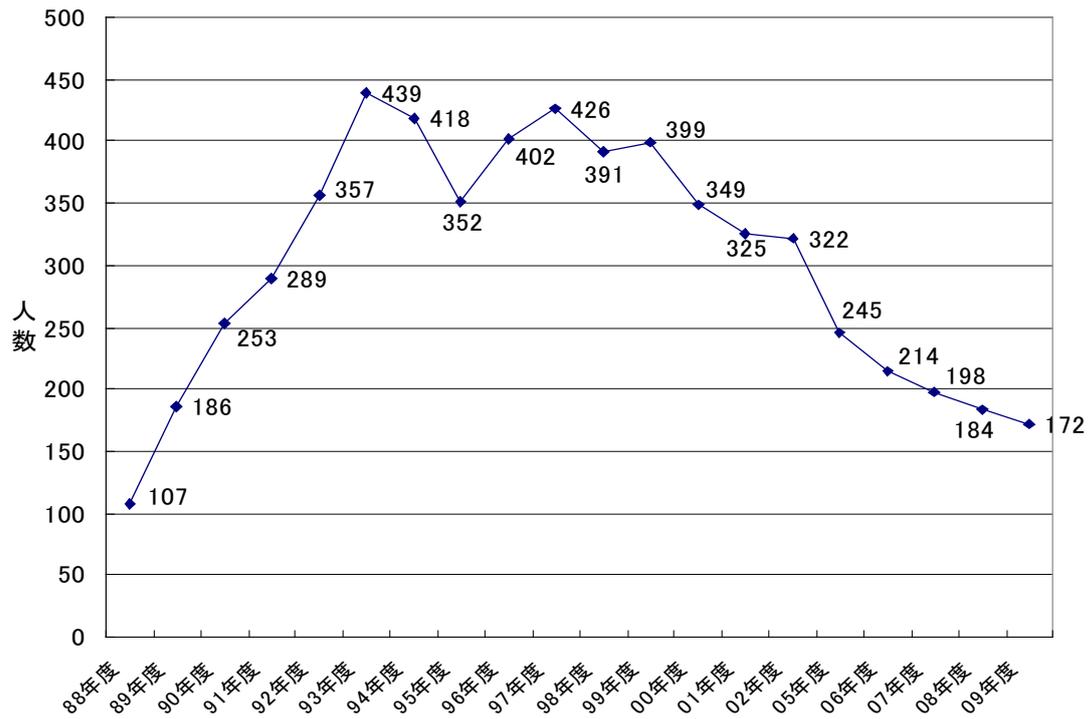


図1. 友の会会員変化

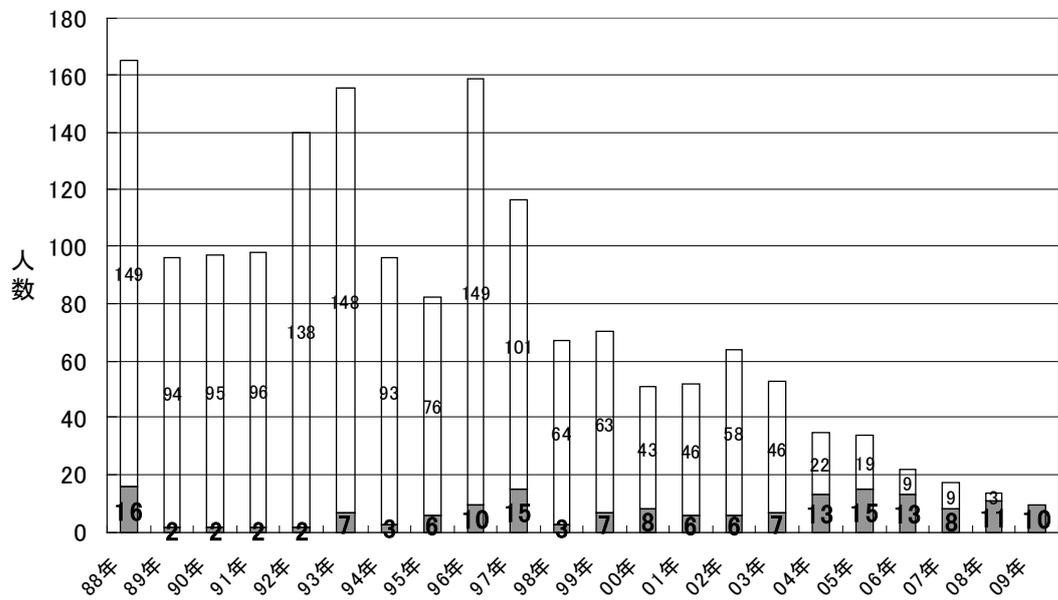


図2. 入会年別会員数

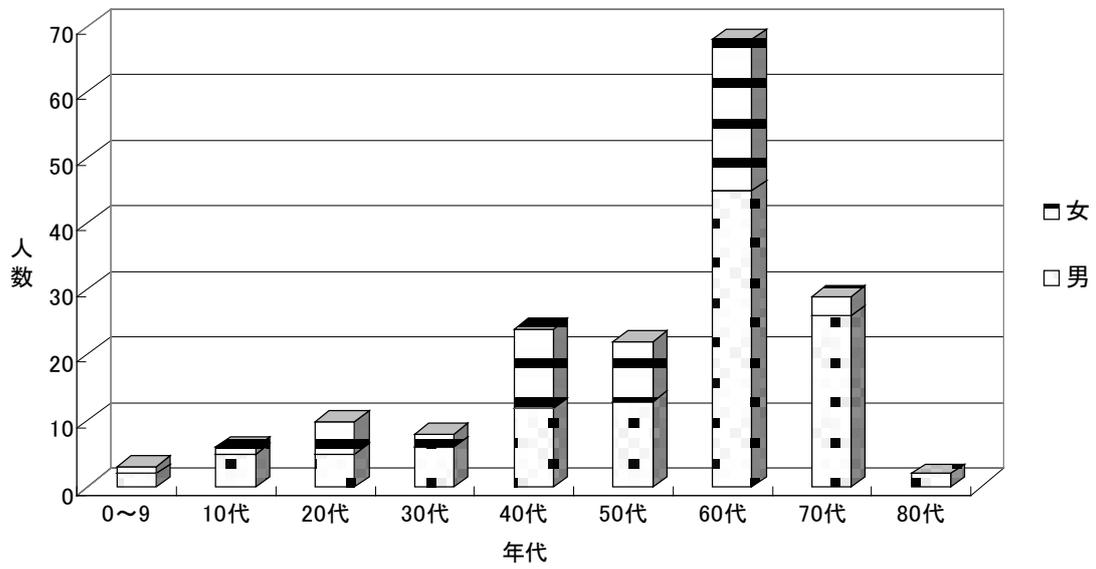


図3. 会員年齢分布

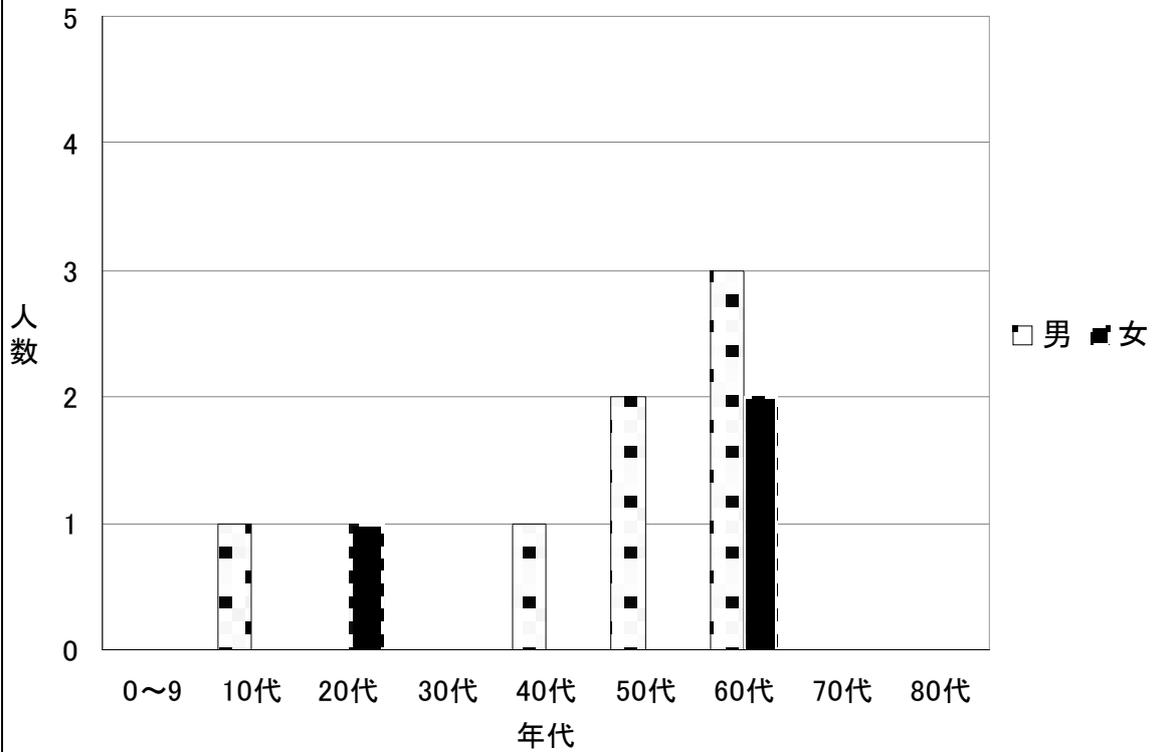


図4 入会会員内訳

<b>2009 年度入館者数</b>			
尾崎 理恵 ((財)日本野鳥の会サンクチュアリ室)まとめ			
<b>調査場所</b>	自然観察センター		
<b>調査日</b>	2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日 (年末年始・休館日を除く)		
<b>調査開年</b>	1986 年	<b>次年度</b>	継続
		<b>終了予定</b>	— 年
<b>調査目的</b>			
<p>利用者の動向を把握し、行事、展示、サービスなどをニーズに沿ったものにするための基礎資料として、入館者数をモニタリングする。</p>			
<b>調査方法</b>			
<p>自然観察センターへの入館者数をカウンター内にあるレンジャーが数取機で記録した。主催行事の参加者数はレンジャーが、友の会主催行事の参加者数は友の会会員が把握し、記録した。友の会会員の活動人数は、友の会の活動報告日報から読みとる、または、友の会プロジェクトの担当レンジャーが記録した。また、友の会活動ではなく、施設の事業の補助等を行ったボランティア人数については、別途レンジャーが記録した。</p> <p>なおこの調査は、カウンターにいるレンジャーが確認できた範囲での記録である。問合せや電話に対応している時には記録できていない来館者もいる。また、自然観察センターに入館していない来園者数は、測定は行なっていないため推測値である。</p>			
<b>調査結果</b>			
<p>入館者数はのべ 44,154 人、そのうち、一般入館者の合計がのべ 41,883 人 (内訳：個人での利用者が 20,307 人、団体での利用者が 19,216 人、施設の主催行事参加者が 1,684 人、友の会主催行事参加者が 676 人)、ボランティアが合計 2,271 人 (内訳：横浜自然観察の森友の会の活動を行ったのべ 2,259 人、施設の求めに応じて事業の補助等を行った施設ボランティアが 12 人)であった(表 1)。個人利用者数は一般入館者数の 48.5%、団体利用者数は 45.9%、行事参加者数(友の会行事含む)は 5.6%であった。</p> <p>入館者が 4 千人を超えたのは、5、6、9、10 月で、前年度より一ヶ月減少した。そのうち最も多かったのは前年度と同様 10 月であった。</p> <p>行事参加者数は 6 月(見る知るホテル劇場)、次いで 10 月(大丸山ののぼろう月間)、9 月(ハマの森あそびシリーズちびっ子編)の順に多かった。</p> <p>例年、冬季のセンター利用者数は他の月と比べ少ない。これは季節的なものがあると同時に、隣接する上郷・森の家が施設メンテナンスのため約 2 週間程休館することが影響していると考えられる。しかし 2008 年度 1 月のセンター利用者数は 1734 人であったが、2009 年度は 2769 人と 1035 人増加した。</p> <p>入園者数については、過去に大学生の卒業研究で、入園者数はセンター利用者数の約</p>			

3倍との調査結果が出ているので、その数値を当てはめて推定している。2009年度の推定入園者総数は132,462人であった。

表1. 2009年度自然観察センター入館者数

平成21(2009)年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
入園者数(推定)	9,789	15,717	14,517	11,820	6,600	12,522	16,716	10,980	11,142	8,307	7,584	6,768	132,462
センター利用者数総計	3,263	5,239	4,839	3,940	2,200	4,174	5,572	3,660	3,714	2,769	2,528	2,256	44,154
前年同期比(%)	109%	91%	113%	92%	90%	105%	90%	75%	97%	160%	101%	88%	97%
入館者合計	2,995	5,058	4,659	3,762	2,022	4,004	5,395	3,517	3,533	2,569	2,374	1,995	41,983
内訳													
個人利用者	2,520	2,713	1,044	1,570	1,488	1,908	2,187	1,795	1,169	1,600	947	1,366	20,307
団体利用者	387	2,213	2,854	2,112	466	1,894	2,592	1,639	2,280	884	1,358	537	19,216
(団体数)	17	43	38	33	14	30	42	30	37	17	15	14	330
(対応団体数)	4	17	23	15	5	11	16	9	11	4	5	4	124
行事参加者	3	59	713	0	49	74	546	47	42	30	65	56	1,684
友の会行事参加者	85	73	48	80	19	128	70	36	42	55	4	36	676
ボランティア合計	268	181	180	178	178	170	177	143	181	200	154	261	2,271
内訳													
友の会ボランティア	268	181	170	178	178	170	177	143	181	200	152	261	2,259
施設ボランティア	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	2	0	12
センター利用者累計													
2009年度累計	3,263	8,502	13,341	17,281	19,481	23,655	29,227	32,887	36,601	39,370	41,898	44,154	44,154
前年同期比(%)	121%	103%	108%	105%	104%	105%	103%	100%	100%	103%	104%	103%	103%
開園累計	819,451	824,509	829,168	832,930	834,952	838,956	844,351	847,868	851,401	853,970	856,344	858,339	858,339

# 生物リスト

表1. 鳥類ラインセンサスの出現種と月ごとの平均個体数  
(2009年4月－2010年3月)

数値は月ごとの平均個体数

種名	4月	5月	6月	10月	1月	2月	3月
1 アオゲラ	1.5	1.5		0.5			1.0
2 アオジ	4.0			0.5	8.0	6.0	7.0
3 アカハラ	0.5				0.5		0.5
4 ウグイス	29.0	13.0	17.0	4.0	4.0	1.5	19.0
5 エナガ	1.5	0.5			5.5		9.0
6 オオタカ						0.5	
7 オオルリ			0.5				
8 ガビチョウ					1.0		
9 カワセミ			0.5	0.5			
10 カワラヒワ		2.0	4.5		9.0	2.5	
11 キジバト	1.0			0.5	3.0	2.0	1.5
12 キビタキ		0.5	1.0				
13 クロジ	1.0						
14 コゲラ	7.5	2.5	5.0	2.5	5.5	3.0	6.0
15 コジュケイ	6.5	3.5	2.5	1.0	2.0	5.5	3.5
16 コマドリ	0.5						
17 シジュウカラ	5.5	7.5	10.5	14.5	7.0	5.5	16.0
18 シメ	3.0				1.5	1.0	0.5
19 ジュウイチ	0.5						
20 ジョウビタキ						0.5	
21 シロハラ					3.5	1.0	1.5
22 スズメ		9.0	7.5	10.0	0.5	1.5	3.0
23 センダイムシクイ	0.5		1.5				
24 ツグミ	0.5				0.5		0.5
25 ツバメ		1.0					
26 トビ	2.0	0.5			1.0		1.0
27 ハシブトガラス	4.0	14.0	4.0	2.5	1.0	1.0	6.0
28 ハシボソガラス	1.0	5.0	1.5	1.5			
29 ヒヨドリ	13.0	3.5	13.0	59.0	27.5	14.0	18.0
30 ビンズイ	1.0						
31 ホオジロ	2.0		2.5		2.0	1.0	
32 ホトトギス		1.5	4.0				
33 メジロ	28.0	15.5	16.5	21.5	15.0	4.0	3.5
34 モズ				0.5			
35 ヤブサメ	0.5	1.5	2.0				
36 ヤマガラ		0.5	0.5		0.5	1.0	1.0
37 ルリビタキ					0.5		
小計	114.5	83.0	94.5	119.0	99.0	51.5	98.5
ウグイス類sp.			0.5				
エナガ?			1.0	0.5			
カラ類sp.	0.5						
カラス類sp.	0.5						
ツグミ類sp.	0.5				0.5		
ホオジロ類sp.	2.0	0.5					
合計	118.0	83.5	96.0	119.5	99.5	51.5	98.5

表2: 月別鳥類出現率 (2009年4月～2010年3月)

No.	科名	種名	出現率(%)											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	ウ	カワウ	11.5			3.7		3.8		4.0		4.2	4.3	
2	サギ	コサギ								4.0				
3		アオサギ		7.4				7.7	3.7					
4	ガンカモ	カルガモ	15.4	37.0			3.8			4.0				
5		オシドリ					3.8		3.7			4.2		
6	ワシタカ	ハチクマ					3.8	7.7						
7		トビ	73.1	51.9	32.0	48.1	65.4	73.1	66.7	64.0	75.0	87.5	56.5	53.8
8		オオタカ	3.8				15.4	15.4	7.4	4.0	16.7	12.5	21.7	3.8
9		ハイタカ						3.8		12.0	20.8	29.2	13.0	
10		ノスリ	3.8	3.7			3.8	7.7	7.4	12.0		50.0	13.0	3.8
11		サシバ		7.4			38.5	30.8	3.7					
12		ツミ	7.7	3.7						12.0		4.2		
13		ミサゴ	3.8							4.0				
14	ハヤブサ	ハヤブサ						11.5	3.7	4.0				
15		チゴハヤブサ							3.7					
16		チョウゲンボウ					3.8		3.7	4.0				
17	シギ	ヤマシギ								4.0				
18	カモメ	ユリカモメ											4.3	
19	ハト	キジバト	57.7	59.3	32.0	14.8	38.5	42.3	59.3	24.0	45.8	62.5	65.2	46.2
20		アオバト	3.8		4.0				14.8	8.0	8.3			
21	ホトギス	ジュウイチ	7.7			7.4								
22		ホトギス		33.3	88.0	74.1	3.8							
23		ツツドリ		18.5				19.2						
24	フクロウ	フクロウ	3.8	11.1				3.8	3.7					
25	アマツバメ	ヒメアマツバメ		11.1	4.0			3.8	3.7	4.0	4.2	4.2		
26		アマツバメ						3.8	7.4					
27	カワセミ	カワセミ	42.3	40.7	32.0	18.5	19.2	7.7	18.5	36.0	16.7	4.2	8.7	3.8
28		アカショウビン		3.7										
29	キツツキ	アオゲラ	61.5	55.6	28.0	59.3	76.9	57.7	59.3	20.0	25.0	20.8	26.1	26.9
30		コゲラ	88.5	48.1	48.0	59.3	42.3	57.7	74.1	60.0	75.0	79.2	78.3	88.5
31	ツバメ	ツバメ	38.5	37.0	28.0	59.3	23.1	19.2	7.4					
32		コシアカツバメ						7.7						
33		イワツバメ							7.4					
34	セキレイ	キセキレイ	15.4						7.4	20.0	4.2			
35		ハクセキレイ	7.7		20.0	22.2		11.5	7.4	12.0	4.2	16.7	8.7	3.8
36		ビンズイ	11.5						3.7					
37	サンショウクイ	サンショウクイ		3.7				3.8						
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	84.6	63.0	52.0	70.4	46.2	34.6	81.5	96.0	91.7	87.5	100.0	84.6
39	モズ	モズ	11.5					23.1	59.3	52.0	37.5	33.3	21.7	19.2
40	ミソサザイ	ミソサザイ									4.2	4.2	4.3	
41	イワヒバリ	カヤクグリ	3.8						3.7		4.2			
42	ヒタキ	ルリビタキ	3.8							20.0	33.3	37.5	13.0	3.8
43		ジョウビタキ							11.1	16.0	12.5	20.8	34.8	7.7
44		ノビタキ							3.7					
45		コマドリ	15.4											
46		コルリ	3.8	7.4										
47		トラツグミ							3.7	4.0		16.7	17.4	
48		アカハラ	30.8	3.7						4.0	20.8	62.5	56.5	15.4
49		シロハラ	26.9							8.0	37.5	79.2	78.3	30.8

No.	科名	種名	出現率(%)												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
50	ヒタキ	マミチャジナイ								7.4					
51		ツグミ	34.6							3.7	12.0	45.8	29.2	47.8	30.8
52		ヤブサメ	42.3	55.6	60.0	14.8				3.7					
53		ウグイス	92.3	92.6	80.0	96.3	53.8	30.8	51.9	68.0	66.7	70.8	52.2	84.6	
54		エゾムシクイ	7.7	7.4											
55		センダイムシクイ	38.5	44.4	28.0	14.8									
56		キビタキ	11.5	22.2	12.0				19.2	18.5					
57		オオルリ	50.0	48.1	40.0	25.9	7.7	3.8	3.7						
58		エゾビタキ							30.8	33.3					
59		コサメビタキ							7.7	7.4					
60	エナガ	エナガ	57.7	22.2	24.0	14.8	7.7	23.1	48.1	32.0	66.7	45.8	34.8	46.2	
61	シジュウカラ	コガラ	3.8												
62		ヤマガラ	26.9	25.9	32.0	18.5	7.7	3.8	29.6	12.0	20.8	16.7	30.4	30.8	
63		シジュウカラ	88.5	85.2	88.0	88.9	57.7	92.3	85.2	68.0	79.2	79.2	82.6	80.8	
64		ゴジュウカラ		7.4											
65	メジロ	メジロ	80.8	92.6	68.0	96.3	65.4	53.8	74.1	80.0	75.0	83.3	60.9	53.8	
66	ホオジロ	ホオジロ	53.8	29.6	36.0	37.0	15.4	15.4	40.7	44.0	62.5	66.7	47.8	46.2	
67		カシラダカ								3.7	12.0	4.2	16.7		3.8
68		ミヤマホオジロ									4.0				
69		アオジ	46.2	3.7						11.1	56.0	54.2	50.0	52.2	50.0
70		クロジ	23.1	7.4						7.4	28.0	16.7	4.2	8.7	
71	アトリ	アトリ								7.4	28.0				
72		カワラヒワ	11.5	40.7	72.0	44.4				11.1	28.0	12.5	41.7	69.6	38.5
73		マヒワ	11.5								4.0				
74		ベニマシコ									8.0			4.3	7.7
75		ウソ	3.8								8.0	16.7	25.0	26.1	7.7
76		イカル		3.7								4.2		4.3	
77		シメ	46.2	7.4						14.8	40.0	12.5	20.8	30.4	15.4
78	ハタオリドリ	スズメ	80.8	96.3	84.0	85.2	61.5	34.6	51.9	52.0	75.0	83.3	82.6	80.8	
79	ムクドリ	コムクドリ		3.7				3.8							
80		ムクドリ	11.5	18.5						3.7		12.5		4.3	
81	カラス	カケス	7.7						3.8	22.2					
82		ハシボソガラス	65.4	66.7	12.0	55.6	57.7	61.5	55.6	48.0	50.0	66.7	34.8	38.5	
83		ハシブトガラス	73.1	81.5	52.0	63.0	73.1	53.8	59.3	24.0	66.7	33.3	47.8	38.5	
84	* キジ	コジュケイ	92.3	96.3	68.0	74.1	88.5	69.2	70.4	64.0	62.5	75.0	65.2	88.5	
85	* ハト	ドバト	3.8	3.7						7.4	4.0		4.2		
86	* チメドリ	ガビチョウ			4.0	3.7	3.8	3.8	18.5	20.0	4.2	8.3	4.3	3.8	
	ワシタカ	ワシタカ類sp.									4.2				3.8
	シギ	シギ類sp.											4.2		
	ヒタキ(ツグミ亜科)	ツグミ類sp.									4.2	4.2			

\* : 外来種

## 花暦 ・ 2009年

横浜自然観察の森友の会 野草プロジェクト：

伊澤嘉與子・上原明子・杉崎泰章・高原弘子・畑史子・八田文子・山路智恵子  
篠原由紀子（まとめ）

### 〈調査方法〉

毎月1日から10日の間に、モニタリング1000里地調査のコースを歩いて植物の状況を記録した。野草プロジェクトの活動日にメンバーが記録したものを追加した。活動日以外に観察の森で記録したものを追加した。

### 〈凡例〉

つぼみ : △  
花 : ★  
未熟な実 : ○  
熟した実 : ●  
むかご : む

△	△★	△ ○	★○●	△26
★	△★○	△ ●	△/★12	★22
○	△★○●	△ ○●	△16★22	△★20
●	○●	★○	△★16○22	△★○20

シダ植物の孢子嚢確認：あり

コモチシダのむかご確認：こ

・ 数字は定例調査の日以外で記録した日、

例 1. 一定例調査の日には蕾だったが12日には開花を記録した：△/★12

例 2. 一定例調査の日には記録されなかったが、26日にはつぼみを記録した：△26

・ 園内で観察できる場所が限られている植物は、種名の右( )内に場所を記した

ア：アキアカネの丘，オ：尾根道，カ：かの森，ク：クヌギの林，ケ：ゲンジの谷，コ：コラの谷

ス：炭焼き場，セ：生態園，ノ：ノギクの広場，ハ：畑，ヒ：ヒクニック広場，ミ：水鳥の池

外：園外

・ 種名の網掛けは生態園で観察できた種

熟した  
実の色

褐色

赤

青

黒  
薄茶

黒茶  
赤茶  
茶

茶  
黒茶  
薄茶  
紫

赤

茶

茶  
薄茶

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
アオカモジグサ	イネ		△★17	★○	●								
アオキ	ミズキ	○●/△★	○	○●	○	○	○	○	○	△	△★○●	△○●/★22	△★○●
アオスゲ	カヤツリグサ	△★○	○										△31
アオツツラフジ	ツツラフジ		△31	△★	△★	△★○	△★○	△★○●	●	●	●	●	
アオミズ	イラクサ						△★5	★○	○●	○●			
アカガシ	ブナ	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アカシデ 植栽	カバノキ	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△★22
アカシヨウマ	ユキノシタ		△/★31	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	
アカネ	アカネ						△	△★○3	●	●	●	●	
アカバナ	アカバナ				△★29	△★○	△★○●	○●	●15				
アカマツ 植栽	マツ	△★	○●	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
アカメガシワ	トウダイグサ			△★	★○	○/●17	○●	○●	●	●	●	●	
アカカラマツ	キンポウゲ				△	△★	△★○	○●	●	●	●	●	
アキグミ 植栽も	グミ		△★				△★		●	●	●	●	
アキニレ 植栽	ニレ						△★	○	○	○	○	○	
アキノウナギツカミ 植栽(ハ)	タデ							△★3					
アキノエノコログサ	イネ					△	○	★○	○●	○●	○●	○●	○●
アキノキリンソウ(カ)	キク								○				
アキノタムラソウ	シソ				△★	△★○	△★○●	△★○●	★○●	★○●	●	●	
アキノノゲシ	キク						△/★13	△★○●	○●				
アキヒシバ	イネ							△★3					
アケビ	アケビ	△★											△/★22
アサザ 植栽	ミツガシワ												
アジサイ 植栽	ユキノシタ		△	△/★18	△★								
アズマイバラ	バラ	△26	△/★17	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●	○●	
アズマネザサ	タケ	△★		○									
アゼガヤツリ	カヤツリグサ						△★	○●					
アゼナルコ(ク)	カヤツリグサ		△★3	○	●								
アブラヤシ	クスノキ	★	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△/★19
アマチヤツル	ウリ						○						
アマナ 植栽	ユリ												△3★11
アメリカアゼナ(ア)	ゴマノハグサ				△★26	△★○	△★○	○●					
アメリカスミレサイシン	スミレ	△★1除去											
アメリカセンダングサ	キク						△★4	△★○/●30	●	●	●	●	●
アメリカタカサブロウ	キク					△★○	△★○	○●					

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
アメリカフウロ			△★○除去										
アラカシ	フウロソウ	△★26	○	○	○	○	○	○	●				
アレチギシギシ	タデ		△7★31	△★○	★○	○●	●						
アワブキ	アワブキ		△/★25	★○	○	○	●						
アンズ 植栽(ハ)	バラ												△★22
イ	イグサ		△★	○●18	○●	○			●15				
イガホオズキ	ナス			△★18	△★	△★○	△★○	○	○				
イタドリ	タデ						△★4	○●	●				
イチゴツナギ	イネ		△★	○									
イチリンソウ 植栽?(ク)	キンポウゲ	△★											△28
イスガラシ	アブラナ		△★○3	△★○	△★○		△★○	○	△★○15				
イヌコウジュ	シソ						△★4	★○	★○●	●	●		
イヌコハコベ	ナデシコ												△★○外
イヌコリヤナギ 植栽	ヤナギ	△★26	★○										△★11
イヌザクラ	バラ	△/★26	○	○	○								
イヌシデ 植栽も	カバノキ	△★1/○	○	○	○	○	○●	●	●	●	●	△	△
イヌセンブリ(ク)	リンドウ							△★7	△★○●	●	●	●	●
イヌタデ	タデ					△★5	△★	△★○●	○●	★○●			
イヌツゲ 植栽も	モチノキ	●	△/★31	△★	○	○	○	○●	○●	○●	●		
イヌトウバナ	シソ					△★	△★○	★○●	★○●	○●	○●	○●	
イヌビエ	イネ				△★26	△★○●	△★○●	○●	○●				
イヌビワ	クワ	○	○	○	○	○	○●	○●	○●	○	○	○	
イヌホオズキ	ナス		△★7	△★7	△★○		△★○	△★○●	△★○●		○●		
イヌムギ	イネ	△26			○●		○			○			
イヌムラサキシキブ	クマツヅラ		△	△	○	○	○	○	●				
イボタノキ	モクセイ	△	△★3	★○	○	○	○	○	○●	○●	●		
イロハモミジ 植栽も	カエデ	△★	○	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●	○●	
ウグイスカグラ	スイカズラ	△★○/●27	○●	●								△★3	△★
ウシノツツペイ	イネ				△★	○		○●	○●				
ウシハコベ	ナデシコ		△★○3	△★○●	△★○●	○●	△★	△★○●	△★○●	△★○●	△		
ウスゲチヨウジタデ(ク)	アカバナ						△★○						
ウツギ	ユキノシタ	●	△/★17	★○●	○	○	○	○	○	○●	○●	○●	●
ウド	ウコギ				△	△	△★4		○●				
ウバユリ	ユリ				△	○	○	○	○●	○●	○●		
ウマノミツバ	セリ		△★	△★	△★○	★○	★○	○●	○●	○●	○●	○●	

熟した  
実の色

赤

赤

褐色

緑

紫

薄茶

緑→黄

薄茶

赤

赤

薄茶

青

褐

紫

赤

茶

茶

茶

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
ウラシマソウ	サトイモ	△★1	○	○	○								
ウラジロチコグサ	キク		△★	★○●18									
ウワバミソウ(口)	イラクサ	△	△★3				○		●				
ウワミズザクラ	バラ	△★16	○	○	○	●							
ウンリュウヤナギ 植栽(H)	ヤナギ												△/★22
エゴノキ	エゴノキ		△/★17	○	○	○	○	○●					
エゾノギンギシ	タデ					○							
エノキ	ニレ	△★	○	○	○	○	○●	○●	○●	●	●		
エノキグサ	トウダイグサ						★○	○	○●				
エノコログサ	イネ						○●	○●					
エビヅル	ブドウ			△★	△○/★26	△★○	△★○●	●	●				
エビネ	ラン	△16★19	○	○	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●	●
エンコウカエデ(イタカエデ)	カエデ	△★19	○	○	○	○	○	○	○●	○●			
エンジュ 植栽?	マメ				△/★29	△★	★○	○	○	○●	○●	○●	●
オオアラセイトウ	アブラナ	△★19除去											
オオアレチノギク	キク					△★	△★○●	△★○●	△★○●	△★○●	○●	○●	
オオイスノフグリ	ゴマノハグサ	△★○	△★○	△★○							△★	△★	△★○
オオオナモミ	キク							○	○	○●			
オオジンバリ	キク	△★16	△★○●						△★				
オオシマザクラ 植栽も?	バラ	△★	○	●									△★22
オオスズメノカタビラ	イネ	△★27	△★○	△★○●									
オオチドメ	セリ			△★3	△★○								
オオニシキソウ	トウダイグサ				△★29	△★	△★○	○●	○●				
オオハイボタ	モクセイ		△	△★○	○	○	○	○					
オオバウマノスズクサ	ウマノスズクサ	△16★19											
オオバコ	オオバコ		△★	△★○	○●	△★○●	△★○●	○●	○●	○●	○●	○●	●
オオバジャノヒゲ	ユリ		△25	△/★18	○	○			○				
オオバヤシャブシ 植栽	カバノキ	○●	○●	○●	○●	○●	○●	△○●	△○●	△○●	△○●	△○●	△★○11
オオムラサキ 植栽	ツツジ	△★1	★○										
オオムラサキシキブ	クマツヅラ			△									
オオヤマザクラ 植栽	バラ	△★	○	●									
オカタツナミノウ	シソ		△★	△★○	○●	○●	○●	○●	○●	○●	○●	○●	
オカトラノオ	サクランソウ			△/★18	△★○	○	○	○●	○●	○●	○●	○●	
オギ	イネ							△★○3	○●	○●	○●	○●	○●
オケラ	キク					△	△	△★	★	○●	○●	○●	○●

熟した  
実の色

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
オッタチカタバミ	カタバミ	△★26	△★○	★		△★○	△★○		★				
オトコエシ	オミナエシ					△★	△★		●				
オノウシノケグサ	イネ		△★○	○●	●								
オニシバリ	ジンチョウゲ	○	○●25	●				△	△	△	△★6	△★	△★
オニタビラコ	キク	△/★16	△★○●	△★○●	△★○●	★○	△★		△★○●		△★○		
オニドコロ	ヤマノイモ				△★	△★○	★○	★○	○●	●	●	●	●
オビシバ	イネ				△★29	△★○17	○●	○●					
オヘビイチゴ(ウ)	バラ	△16★26	△★										
オモト	ユリ												●
オヤブジラミ	セリ	△★26	△★○	○●	●								
オランダガラシ	アブラナ	△★26	△★○										
オランダミミナグサ	ナデシコ	△★	○●										△
カエデドコロ	ヤマノイモ						△★4	○	○	●	●	●	●
ガガイモ	ガガイモ					△★	△★						
カキドオシ	シソ	△★5	★○										
ガクアジサイ 植栽	ユキノシタ			△/★18	△★								
カクレミノ 植栽	ウコギ						○	○	○				
カシワバハグマ	キク			△	△	△	△	★○	●	●	●	●	
カスマグサ	マメ	△★26											
カスミザクラ 植栽	バラ	△★16	○	●18									
カゼクサ	イネ						△★○●	★○	●	●	●	●	●
カタバミ	カタバミ	★				△★○	△○						
カタバヤブマオ	イラクサ					△★							
カテンソウ(ウ)	イラクサ	△/★○16											△3★22
カナビキソウ(ノ)	ビャクダン		△★○25	△★○	△★○●	△★○●	△★○●	○●	○●				
カナムグラ	アサ						△★○	○	○●				
カニツリグサ	イネ		△★										
ガマズミ	スイカズラ	△	△★	○	○	○	○	●	●				
カマツカ	バラ	△/★26	○	○	○	○	○	○●	○●	●	●	●	
カモガヤ	イネ			△★/○18									
カモジグサ	イネ		△★25	★○	○●								★○外
カヤ	イチイ						○						
カヤツリグサ	カヤツリグサ						△★4						
カラスウリ	ウリ				△★29	△★	○	●	●	●	●	●	
カラスザンショウ	ミカン		△31	△	△/★12	○	○	○●	○●	○●	○●	○●	○●

クリーム色

茶

赤

赤

赤

黒

熟した  
実の色

赤  
褐

褐  
赤

黒

褐  
褐  
茶

黄  
茶

褐  
赤  
紺

褐

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
カラタチバナ(カ)	ヤブコウジ			△	★○	○	○	●	●	●			
カラムシ(クサマオ)	イラクサ			△20	△	△	△★2	○●	○●	●	●	●	●
カワラスガナ	カヤツリグサ						△★	○					
カワラナデシコ	ナデシコ					△★							
カワラヨモギ(ノ)	キク					△	△★4	○	○	●	●	●	●
カンガレイ 植栽	カヤツリグサ			△★18	★○	△★○	○	●	●	●	●	●	●
カントウカンアオイ	ウマノスズクサ	★					△	△★	★	★	★	★	★
カントウタンポポ	キク	△★○	△★○●										△★19
カントウマムシグサ	サイイモ	△★27	★										
キクバドコロ	ヤマノイモ					○							
ギシギシ	タデ			△		○●							
キツタ	ウコギ	○●	●				△	△★	★○	○	○	○●	○●
キツネアザミ(ク)	キク		△★										
キツネガヤ	イネ			△★	△★○●	●	○●	●	●	●	●	●	●
キツネノカミソリ 植栽(ク)	ヒガンバナ					△★							
キツネノボタン	キンポウゲ			△★○18	△★○●	★○							
キツネノマゴ	キツネノマゴ					△★	△★○	★○●	△★○	★○	●	●	●
キハギ	マメ			△★	△★○	○	△★○	○	○●	○●	○●	○●	○●
キハナガンクビノウ(クンケツク)	キク						△★	○	○●	○●	○●	○●	○●
キブシ	キブシ	★	○	○	△○	△○	△○	△○●	△	△	△	△	△★3
キウウリグサ	ムラサキ	△★	△★○●										△★
ギョウギンシバ	イネ				△★		★○●						
キランソウ	シソ	△★	★○●								△★6	△★22	△★
キンエノコロ	イネ						△★4	○●	●	●			
キンカン 植栽(ハ)	ミカン												●
キンミズヒキ	バラ				△★	△★○	△★○	△★○	△★○●	○●	●	●	●
ギンミズヒキ	タデ					△★	△★○	△★○	●	●			
キンモクセイ 植栽	モクセイ						△	△★3					
キンラン	ラン		△★6										
ギンラン	ラン	△/★26	△★	○	○	○	○	○	○	○●	○●	○●	●/△28
クサイ	イグサ		△/★25	△★○	○●	★○●	●	●	●	●			
クサイチゴ	バラ	△★○	★○●									△22	△★11
クサギ	クマツヅラ				△	△★	△★○	★○●	●	●	●	●	●
クサヨシ	イネ			△★7	●								
クサレダマ 植栽(ハ)	サクラソウ	△18		△18	△★1	○	○	○●	●	●	●	●	●

熟した  
実の色  
主に金色の

黒  
赤  
褐

茶  
緑

薄茶

黒

薄茶

薄茶

薄茶

褐

茶

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
クス	マメ				△★1	△★	△★	○	○●	●	●	●	●
クスノキ 植栽	クスノキ	△	△★	○	○	○	○	○	○				
クスギ 植栽も	フナ	△★○	○	○	○	○	○	○					△★22
クマノミズキ	ミズキ		△	△★7	○	○	○●	○●					
クマヤナギ	クロウメモドキ	○	○	○/△★●26	△★●	○	○	○	○	○	○	○	○
クララ	マメ		△/★23	△★	○	○●	●						
クリ 植栽も	フナ		△/★31	△★	○	○	○						
クレマチス園芸種	キンポウゲ			△★	★○								
クロッカス 植栽(他)	アヤメ												★5除去
クロマツ 植栽も	マツ	△★	○	○	○	○●	○	○●	○	○●	○●	○●	○●
クロモジ	クスノキ	△★1	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△/★19
クロヤツシロラン	ラン							○●	●				
クワクサ	クワ						△★	△★○	○●	●			
ケイフタバコ	イワタバコ		△25	△★7	○	○	○	○	●				
ケキツネノボタン	キンポウゲ	△★16	★○●	★○●	★								
ケスゲ	カヤツリグサ	△★○	●25										△★
ケチヂミザサ	イネ					△★5	△★	★○	●	●	●		
ケナシチガヤ	イネ	△★1											
ケマルバスマシ	スマシ	△★1											
ケムラサキニガナ	キク			△	△★	★○●	○●						
ケヤマハンノキ 植栽	カバノキ				○●	○●	○●	○●	△	△	△	△★●3	★○●
ゲンシヨウコ	フウロソウ			△★	△★	△★○	△★○●	△★○●	○●	●			
ケンボナシ	クロウメモドキ		△23	△★18			○	●30					
コアカソ	イラクサ	●			△	△★	★○	○	○●	○●	●	●	●
コウガイゼキショウ	イグサ		△★31	○18	○●								
コウゾリナ	キク	△★26	△★○	★○●	★								
コウヤボウキ	キク					△★	△★○●	△★○	★○●	●	●	●	●
コガマ 植栽も	ガマ				△★29	○	○	○					
コクスギ	ミカン	△★	○	○	○	○	○	○	○	○●	●	●	△●/★31
コクラン	ラン				★	○							
コゴメウツギ	バラ	△	△★13	○	○	○	○	○	○●	○●	●	●	●
コシオガマ	ゴマノハグサ							△★○17	○	●	●	●	
コスミレ	スミレ	○	○	○●	○			○	●				△/★19
コセンダングサ	キク	●					△★○4	△★○	△★○●	△★○●	●	●	●
コチヂミザサ	イネ		△★20				△★○4	△★○●	○●	○●	●	○●	○●

朱赤

褐

黒

褐色

赤

赤  
赤  
黒

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
コナスビ	サクランソウ		△★	★	△★○								
コナラ 植栽も	ブナ	△★	○	○	○	○	○	○					
コニシキソウ	トウダイグサ						△★○4						
コハコベ	ナデシコ	△★○●	★○●	○●/△★18	○●					★○		△★	△★○
コバノガマズミ	スイカズラ	△/★19	○	○	○	○	○	●					
コバノツツナミ	シソ	△★19											
コバンソウ	イネ		★3		●								
コヒルガオ	ヒルガオ		△★17	△★18			★○						
コブシ 植栽も	モクレン	★○	○				△	△	△	△	△	△	△★
コブナグサ	イネ							△★3	●				
コマツナギ	マメ				△★	△★○	△★○		○●	●			
コマツヨイグサ	アカバナ		△★25	△★	△★○	△★○	△★○	★○					
コマユミ 植栽	ニシキギ	△★26	△★	○18	○	○	○	●					
コマヅツメクサ	マメ	△★19	△★	△★○	△★○●	△★○●							
コメナモミ	キク						△19	△★3	●				
コモチマンネングサ	ペンケイソウ		△★31	△★									
ゴヨウアケビ	アケビ	△★5											
ゴンズイ	ミツバウツギ		△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
サイハイラン	ラン	△16	△★6	★○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
ササガヤ	イネ							△★3	●	●			
サジガクビソウ	キク				△	△★	○	○					
サツキ 植栽	ツツジ		△★31	★									
サトザクラ 植栽	バラ	△★											
サネカズラ	マツブサ					△	★○	○	○●	○●			
サヤヌカグサ	イネ				△	○							
サラシナショウマ	キンポウゲ						△	★30					
サルトリイバラ	ユリ	△★	○	○	○	○	○	○●	●	●	●		△/★22
サルナシ	マタビ		△/★25	○	○	○	○	○	○●	○●			
サワラ	ヒノキ	○●	○●	○●	○	○	○	○	○	○	○	○	●
サンカクイ 植栽	カヤツリグサ			△★18	★○	△★○●	○●	○●	●	●	●		
サンカクヅル	ブドウ		△★23										
サンゴジュ 植栽(ハ)	スイカズラ	△26	△	△★	○	○●	●						
サンショウ	ミカン	△					○	○	●	●			
シオデ	ユリ				△★	○	○	○	○●	○●			
シキミ(カ)	シキミ	★	○	○	○	○	○	○	○●	○●			

赤紫  
青  
黒  
緑

茶  
褐  
赤  
茶

薄茶  
黒  
赤  
薄茶  
白

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
シナダレスズメガヤ	イネ		△★3	★○	○●	○●							
シバ	イネ	△★19	△★○	○									
シバヤナギ	ヤナギ												△★22
シマスズメノヒエ	イネ			△★18	△★○	△★○●	△★○●	●	○●				
シモツケ	バラ		△	△★18	★○								
シャガ 植栽	アヤメ	△★	△★	○									△★31
ジャケツツイバラ	マメ		△★	○	○	○	○	○	○●	●	●	●	●
ジャノヒゲ	ユリ	●		△20	△★	○	○	○	○●	○●	○●	○●	○●
シャリンバイ 植栽	バラ	△★26	△★	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●	○●	○●
シェウブソウ	キク					△	△★	○					
ジュズスゲ	カヤツリグサ		△★○6	○	●								
シュンラン 植栽も	ラン	★○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●/△22	△★11
シラ-	ユリ	★16除去											
シラカシ 植栽も	ブナ	△26	△★3	○	○	○	○	○	○●	○●			
シラキ 植栽も?	トウダイグサ		△★	★○	○	○	○	○					
シラゲガヤ	イネ			△★18									
シラスゲ	カヤツリグサ	★27	○	○									
シラヤマギク	キク					△	△	△★	△○●	○●			
シラン	ラン	●/△★19	△★	○	○●	○●	○	○	○	○●	○●	○●	○●
シロザ	アカザ							○17	○				
シロダモ	クスノキ	○	○	○	△	△	△	△○●/★30	△★○●	○●	○	○	○
シロツメクサ 植栽も	マメ	△★26	△★○	△★	△★○	△★○	△★○●						
シロバナシラン	ラン		△★17										
シロバナタンポポ 植栽も	キク	○●除去											△★11除去
シロバナハンショウヅル	キンポウゲ	△★	△★○	○	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●	○●
シロヨメナ	キク			△	△	△	△	△★3	△★○●	△★○●	○●	○●	○●
シンテツポウユリ	ユリ					△5除去							
スイカズラ	スイカズラ		△/★17	△★	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●	
スイバ	タデ	△/★16	△★○										
スギ 植栽	スギ	★○●	○●	○●	○●	○●	○●	△	△○●	△○●	△○●	△	△★○11
ススキ	イネ	●	△★外				△★○4	○	○●	○●	○●	○●	○●
スズメウリ	ウリ							●					
スズメノカタビラ	イネ	△★1	△★○			△★							△★○●14
スズメノチャヒキ	イネ		△25	○									
スズメノヒエ	イネ						△★○●4						

熟した  
実の色

褐

褐

茶

茶

茶

赤

茶

灰茶

黒

茶

薄茶

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
スズメノヤリ	イグサ	△★○	★○●	●									△★11
スダジイ 植栽も	ブナ	○/△19	△★13	○○	○○	○○	○●	○	○	○	○	○	○
スハマソウ	キンポウゲ	○									△	△★	★○
セイタカアワダチソウ	キク	●					△	△★3	△★○●	△★○●	●	●	●
セイバンモロコシ	イネ							★○●					
セイウアブラナ	アブラナ												△★19除去
セイウタンポポ	キク	△★	△★○●										
セキショウ 植栽	サトイモ	△★5											
セリ	セリ				△★	△★○	△★○						
センニンソウ	キンポウゲ	●				△	△★○4	○	●	●	●	●	
ソメイシノ 植栽も	バラ	△★	○	●18									△/★28
タイアザミ	キク				△★	△	△★○●	△★○●	△★○●	△★○●	△★	●	●
ダイコンソウ	バラ	●		△★	△★○	△★○	△★○●	△★○●	△★○●	△★○●	●	●	●
タコノアシ 植栽	ユキノシタ	●		●	●	△★	△★○	○	○	○	●	●	
タシロラン	ラン				△★								
タチイヌアグリ	ゴマノハグサ	△★5	△★○●										
タチカンツバキ 園芸種 植栽	ツバキ	○	○	○	○	○	△	△★○3	△★○	△★○	★○	★○	★○
タチツボスミレ	スミレ	△★○	★○	○●	○●	○●	○	○					△★11
タニウツギ 植栽	スイカズラ	●/△26	△★3	○	○	○	○	○	○	○●	●	●	●
タネツケバナ	アブラナ	△★○	★○●										△★○11
タブノキ 植栽も	クスノキ	△★	○	○	○								
タマアジサイ	ユキノシタ	●	●	△	△★	△★●	△★○	○	○	○●	●	●	●
ダンドボロギク	キク						△★5	△★○●	△				
チカラシバ	イネ				△★4		△★4	△★○	●	●			
チダケサシ 植栽	ユキノシタ				△★	○	○	○					
チチコグサ	キク		△★3										
チャノキ 植栽	ツバキ							△★	△★○	○	○	○	○
ツクシヤブマオ	イラクサ			△18	△	△★○							
ツクハトリカブト	キンポウゲ								★○				
ツクハネウツギ	スイカズラ	△16★26	★○	○	○	○	○	○	○●				
ツツジ 植栽	ツツジ	★19										★	★
ツバキ 園芸種 植栽	ツバキ	△★○	△★○		○	○	○	△	△/★15	△★	△★	△★	△★○
ツボクサ(オ)	セリ					△	★13		●16				
ツボスミレ	スミレ	△★											
ツボミオオバコ(ウ)	オオバコ		△★3	○									

熟した  
実の色

薄茶  
薄茶

褐

黒

赤

褐  
黒紫

赤

赤

灰色

薄茶

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
ツユクサ	ツユクサ			★3	★○	★○	△★○	△★○●	○●				
ツリガネニンジン	キキョウ						★○13	△★	△★○				
ツリバナ	ニシキギ	△19	△★3										
ツリフネソウ 植栽も	ツリフネソウ						△13★19	△★					
ツルウメモドリ	ニシキギ	△26	△★3	○	○	○	○	○	○	●	●		
ツルカノソウ	オミナエシ	△★	★○●	★	△	△							△/★19
ツルグミ	グミ										★○		
ツルニガクサ	シソ				△★	★○	○	○●					
ツルニンジン	キキョウ						△/★○13						
ツルフジバカマ(ヒ)	マメ					△★	△★○	●					
ツルホ	ユリ					△★	△★○		○●				
ツルマサキ	ニシキギ	△	△	△★○	○	○	○	○	○	●	●	●	
ツルマメ	マメ						△★4	○	●				
テйкаズラ	キョウチクトウ		△/★17	△★○	★○	★○	○	○	○	○●	●	●	●
テリハノイバラ	バラ		△	○18	○	○	○	○●	○●	●			
トウゴクヤブマオ	イラクサ							○	○				
ドウダンツツジ 植栽	ツツジ	△★	○	○	○	○	○	○	○	○●	●	●	
トウネズミモチ 植栽	モクセイ			△	△★1	○	○	○	○	○●	●	●	
トウバナ	シソ	△★26	△★○	○●	○●	○●	△★○	★○		○●	●	●	
トキリマメ	マメ	●			△★	△★	△★○	○●	●	○●	●	●	●
トキワツユクサ	ツユクサ				△★								
トキワハゼ(ア)	ゴマノハグサ	△★26			△★○18								
ドクウツギ	ドクウツギ	△★	○	○●									△11
ドクダミ	ドクダミ		△★	△★○	★○	○	○●		●				
トダシバ	イネ					△★	△★○	○●	●	●	●	●	●
トチカガミ 植栽(ハ)	トチカガミ					★							
トベラ 植栽	トベラ	△26	△/★17	○26	○	○	○	○	○/●15	●	●	●	
トボシガラ	イネ	△★26	△★○	○●									
ナガバギシギシ	タデ		△★○31	○	○●								
ナガハグサ	イネ	△★27											
ナガバハエドクソウ	ハエドクソウ		△25	△★7	△★○	△★○●	△★○●	○●	○●	●	●		
ナギナタガヤ	イネ		△★25	△★○									
ナキリスゲ	カヤツリグサ												
ナズナ	アブラナ	△★○					△★○4	○	○●	○●	●	●	●
ナツトウダイ	トウダイグサ	△★	○										△★○
													△★19

熟した  
実の色

黒

褐

橙

赤・黄

茶

褐

茶

茶

赤

紫

白、青、紫

褐色

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
ナルコユリ	ユリ	△16	△	○	○	○	○	○	●				
ナンテンハギ	マメ					△	△★7	★○	●				
ナンバンギセル	ハマウツボ						△★2	★○●	●				
ニガキ	ニガキ	△/★26	○										
ニガナ	キク	△	△★3	○									
ニシキギ 植栽	ニシキギ	△/★19	△★	○	○	○	○	○●	●	●	●	●	
ニリンソウ 植栽(ク)	キンポウゲ												△★22
ニワゼキショウ	アヤメ		△★3	★○	★○●	●							
ニワトコ	スイカズラ	△★	○	●								△22	△/★19
ヌカキビ	イネ							○●					
ヌカボ	イネ		△★										
ヌスビトハギ	マメ				△★	△★	△★○	○●	○●	●	●	●	●
ヌマトラノオ	サクランソウ			△★18	△★○	○	○	○	●	●	●		
ヌルデ	ウルシ				△	△	△★○4	○	●	●	●	●	●
ネコハギ	マメ					△17	△/★13	○	○				
ネジバナ	ラン			△★18	△★○								
ネズミガヤ	イネ				△★26		△★	★○	○●				
ネズミノオ	イネ					△★17	△★○●	●	●				
ネズミムギ	イネ		△/★25	★○									
ネズミモチ 植栽も	モクセイ	△26	△/★31	△★	○	○	○	○	○●	●			
ネムノキ	マメ			△/★20	△★○	○	○	○●	○●	●	●	●	●
ノイバラ	バラ	△16	△★3	○	○	○	○	○	○●	●	●	○●	●
ノガリヤス	イネ						△★13	○	●	●	●		
ノカンゾウ	ユリ			△★20	△★								
ノゲン	キク	△★○●外	△★○●		△★	★							△★28
ノコンギク	キク				△★1	△★○	△★	△★	★○	●	●		
ノササゲ	マメ						△★13		●16				
ノシラン 植栽	ユリ					△17除去							
ノダケ	セリ							△★○	○	●	●	●	
ノビル	ユリ		△										
ノブドウ	ブドウ			△★18	△★	△★○	△★○●	○●	●				
ノミツヅリ	ナデシコ	△★19	△★○●	△★○●	△★○●								
ノリウツギ 植栽	ユキノシタ			★18	△★○	○	○●	●					
ハイメドハギ	マメ				△★	△★○		○	○	●			
ハキダメギク	キク			△★	△★	△★○●	△★○●	△★	△★○●	△★○●			

熟した  
実の色

薄茶

薄茶

赤

ピンク

黒

褐

黒

茶

薄茶

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
ハコネウツギ	スイカズラ	●/△26	△★6	★○●	○	○	○	○	○	○●	●	●	●
ハコベホオズギ(セ)	ナス			△★3除去		△★○							
ハシカグサ	アカネ						△★13関谷						
ハダカホオズギ	ナス						△★○	○	○●				
ハタザオ(ノ)	アブラナ		△★3	○									
ハツカ(フ)	シソ					△★							
ハナイカダ	ミズキ	△/★19	○	○	○●								
ハナイバナ	ムラサキ	△★	△★○●										
ハナウド(ク)	セリ		△★3										
ハナタデ	タデ				△	△★5	△★	△★○●	○●	○●			
ハナツクハネウツギ	スイカズラ				△★	△★		★○	○	○			
ハナニラ(セ)	ユリ	★5除去											
ハナビゼキシヨウ	イグサ		△★31	★○									
ハマヒサカキ 植栽	ツバキ	○	○	○	○	○	△	△	△★○●	○●	○	○	○
ハマヤブマオ	イラクサ				△★1	★○	○	○	○	○●	○●	○●	○●
ハリエンジュ 植栽	マメ	△26	△★3	○18	○	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●
ハリギリ	ウコギ						△	△★○2	○●	○●	○●	○●	○●
ハルジオン	キク	△★	△★○	△★○●	●								
ハンショウヅル	キンポウゲ	△/★26	△★	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●	○●	○●
ハンノキ 植栽	カバノキ					○	○	△	△	△	△	△	△
ヒイラギ 植栽	モクセイ								△	△★			
ヒエガエリ	イネ		△★25	○18	○●								
ヒカゲイノコズチ	ヒユ				△★	△★○	△★○	△★○	○●	○●	○●	○●	○●
ヒゴクサ	カヤツリグサ	△★19	★○	○			●						
ヒサカキ	ツバキ	★○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△★11
ヒトリシズカ	センリョウ	△★5											△★28
ヒナタイノコズチ	ヒユ						△★○4	△★○	○●	○●	○●	○●	○●
ヒノキ 植栽	ヒノキ	△★ ●	○●	○	○	○	○	○	○	○	○●	○●	○●/△22
ヒメアシソウ	イネ						△★	△★	○●				
ヒメウス	キンポウゲ	△★○	△★○●									△★22	△★○
ヒメオドリコソウ	シソ	△★○●	△★○●									△★○	△★○
ヒメガンクビソウ	キク					★							
ヒメカンズゲ	カヤツリグサ	○	●25										
ヒメクグ	カヤツリグサ				★○1	○	△★○	○●					△★3
ヒメコウソ	クワ	△★16	★○	○●	○●								

熟した  
実の色

薄茶

灰褐  
薄茶

褐  
白  
褐

緑

金茶

赤  
褐色

黒紫

薄茶

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
ヒメコバンソウ	イネ	△★26	△★	○●									
ヒメジョオン	キク		△★31	△★	△★○●	△★○	△★○	★○	△★○●	△★○			
ヒメムカシヨモギ	キク					△★17	△★○●						
ヒメモロコシ	イネ					△★							
ヒメヤブラン	ユリ			△★18	△★		○						
ヒメリュウキンカ	キンポウゲ	△★1除去					△★○						
ヒヨドリジョウゴ	ナス					△★	△★○						
ヒヨドリバナ	キク			△	△★	△★	△★○●	△★○●	★○●				
ヒロハホウキギク(ア)	キク						△★4						
フキ	キク	△★○5											△★3
フジ 植栽も	マメ	△★26	○●	○	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●	○●
フシゲチガヤ	イネ			●	●			○●	○●	○●	○●	○●	
フタクサ	キク					△★5	△★○	○●	○●	○●	○●	○●	
ブタナ	キク	△★2	○●/△★18	○●/△★18	★○●	△★○●	△★○●	★					△★外
フタリシズカ	センリョウ	△26	△★	○	○	○		○					
フツキンソウ	ツゲ	△★○											
フトイ 植栽	カヤツリグサ	△/★26	△★	★○18	○●	○	●	○●					
フリソデヤナギ 植栽	ヤナギ												△★
ヘクソカズラ	アカネ						△★	△★	△★○	○●	○●	○●	○●
ベニバナポロギク	キク					△★	△★	△★○●	△★○●	△★○●	△★○●	○●	○●
ヘビイチゴ	バラ	△★	△★○●	★	●	★	★	○●					
ヘラオオバコ	オオバコ	△★16	△★○●	△★○	△★○●	△★○●	△★○●						
ヘラオモダカ 植栽	オモダカ					△★○	○	○					
ヘラバヒメジョオン	キク		△★25	△★	△★○●	△★○●	△★○●						
ホウチヤクソウ	ユリ	△★	○	○	○	○●	○●	○●	○●	○●	○●	○●	
ホシクサ	ホシクサ					△★	△★○	○	○●				
ホソムギ	イネ			△★18	★○●								
ホタルブクロ	キキョウ		△★31	△★	△★○								
ポタンヅル	キンポウゲ					△★	○	○	○●	○●	○●	○●	○●
ホトケノザ	シソ												△
ホトギス	ユリ							△★○3	○	○●	○●	○●	○●
ホンモンジスゲ	カヤツリグサ	△★	○	○									△/★19
マスクサ	カヤツリグサ	★○21	○	○	●	○	○						
マツカゼソウ	ミカン				△★29	△★	★○	○●					
ママコノシリヌグイ	タデ		△★18	△★	△★	△★○	△★○●	○●					

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
マユミ	ニシキギ	△	△★	○	○	○	○	○●	●	●	●	●	△
マルバアオダモ	モクセイ	△★19											
マルバウツギ	ユキノシタ	△●	△★3	○	○	○	○	○	○	○●	●	●	●
マルバハギ 植栽も	マメ		△18			△★	△★○	○	○				
マルバヤハズソウ	マメ							○					
マンサク(セ)	マンサク										△	△	△★5
マンリヨウ	ヤブコウジ					△/★29				●			
ミズキ	ミズキ	△5★26	△★○	○	○	○●	○●	○●	●				
ミズタマソウ	アカバナ			△★29	△★○	△★○	△★○	○●	○●	●	●	●	
ミズヒキ	タデ			△★○	△★○	△★○	△★○●	△★○●	○●	●	●	●	●
ミゾイチゴツナギ	イネ	△★1	○	○									△★31
ミヅノバ	タデ			△★29	△★29		△★	△★	○●15				
ミチタネツケバナ	アブラナ	△★○	○●										△★○11
ミツガシワ 植栽	ミツガシワ	△★5											
ミツバ	セリ				△★	○	★○●						
ミツバアケビ	アケビ	△★		○	○	○	○	●					△/★22
ミツバツチグリ	バラ	△★16											
ミドリハコベ	ナデシコ	△★16	○●										△★
ミミナグサ	ナデシコ		△★3			★○●							
ミヤギノハギ 植栽	マメ						△★12						
ミヤコグサ	マメ	△★26	△★	△★○●18	★○●	★○	△★○	△★○					
ミヤマウズラ(カ)	ラン					△							
ミヤマカンズゲ	カヤツリグサ	★	○	○									△★11
ミヤマシキミ(カ)	ミカン	△★											
ミヤマナルコユリ	ユリ	△	★○	●	○	○							
ムクゲ 植栽(ハ)	アオイ				△★26	△★○	△★○						
ムクノキ	ニレ	△/★19	○	○	○	○	○	○●	○●	●	●		
ムサシアブミ	サトイモ	△16★26											
ムラサキケマン	ケシ	△★	★○●										△★14
ムラサキサギゴケ(ウ)	ゴマノハグサ	△★16	△★○										
ムラサキシキブ	クマツヅラ		△	△★7	★○	○	○	○●	●	●	●	●	
ムラサキツメクサ 植栽も	マメ	△★26	△★	△★○	△★○●	△★○●	△★○●	△★○●	△★○●	★○●	●	●	
ムラサキマムシグサ	サトイモ	△/★27	★	○	○	○	○	○					
メタセコイヤ植栽	スギ	●				○	△	△	△	△	△	△	△
メドハギ	マメ					△★17	△★	○●	●	●	●	●	●

薄茶

黒

茶

褐  
紫

黒

黒  
紫

黒

褐色

茶

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
メヒシバ	イネ						△★4	△★○	●				
メマツヨイグサ	アカバナ	●			△★1	△★○	△★○	★○●	△★○●	●	●	●	●
メヤブマオ	イラクサ				△/★26	△★	○				●	●	
メリケンカルカヤ	イネ							●	●				
モミジイチゴ	バラ	★○	○●	●									△★
モミジガサ	キク				△	△	△★	★○	○●	○●	●	●	●
ヤエムグラ	アカネ	△★16	△★○										
ヤエヤマブキ 植栽も	バラ	△/★16	★	★									
ヤクシソウ	キク							△/★16			●	●	
ヤツデ	ウコギ	○●						△	△★○	★○	○	○	○
ヤナギタデ	タデ							★○17	○●				
ヤハズエンドウ(カラス/エンドウ)	マメ	△★	△★○	●									△★31
ヤハズソウ	マメ						△★2	○	●				
ヤブカラシ	ブドウ			△★18	△★	△★	△★						
ヤブコウジ	ヤブコウジ		△25	△	△★1	○	○	○/●16	●	●	●	●	●
ヤブジラミ	セリ			△★20	△★○	△★○●	●						
ヤブタバコ	キク						△★	△★○	○●	●	●	●	●
ヤブタバコ	キク	△★1	△★○●	○●									
ヤブツバキ	ツバキ	★○							△★3	△★○	△★	△★○	△★○
ヤブデマリ	スイカズラ	△/★26	★○	○	○	○●							
ヤブニッケイ	クスノキ		△	△★	○	○	○	○●	●				
ヤブニンジン	セリ	△★	○	●	●	●							
ヤブヘビイチゴ	バラ	△★	△★○●	△★○●	△★	●	★	△★○●	●	●			△★31
ヤブマメ	マメ						△★19	○	○●	●	●	●	●
ヤブミヨウガ	ツユクサ					★○	△★○●	○●	●	●			
ヤブムラサキ	クマツヅラ		△	△★	○	○	○	○●	●	●			
ヤブラン	ユリ				△★	△★○	△★○	○●	○●	○●	●	●	●
ヤマアジサイ	ユキノシタ		△25	△/★18	○	○	○	○					
ヤマアワ	イネ			△★18	○	○	●						
ヤマイ	カヤツリグサ				△★1	★○	△★○		●	●	●		
ヤマウコギ	ウコギ	△16	△★	○	○								
ヤマエングサク 植栽	ケン	△★											△★28
ヤマカモジグサ	イネ			△★18	★○●	●							
ヤマグワ	クワ	△★	○●	○●									
ヤマコウバン	クスノキ						○●	●					

熟した  
実の色

赤

茶

茶

桃

薄茶

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
ヤマザクラ	バラ	△★	○	●									△★22
ヤマツツジ	ツツジ		△★					○					
ヤマニガナ	キク			△★18	△★	△★○●							
ヤマノイモ	ヤマノイモ					△★	△★○●	○●	○●	●●	●	●●	●
ヤマハギ	マメ				△★	△★○	△★○	○	○	●	●	●	●
ヤマハゼ 植栽も	ウルシ	△	△/★17	○	○	○	○	○●	○●	●	●	●	
ヤマハタザオ	アブラナ	△26	△★	★○									
ヤマハツカ	シソ							△★	★○				
ヤマブキ 植栽も	バラ	△★	○	○	○	○	○	○	○●	○●	●	●	△★31
ヤマフジ バス停	マメ	△15★16	★○	○	○	★○4	○						
ヤマボウシ 植栽	ミズキ		△	△★7	○		●						
ヤマホタルブクロ	キキョウ			△/★18	△★	△12	△						
ヤマホトギス	ユリ						△/★13						
ヤマムグラ	アカネ		△★○	○	○								
ヤマモモ 植栽	ヤマモモ	△★	○	○/●18	●								△/★22
ヤマユリ	ユリ			△	△★1	○	○	○	○/●16	●			
ヤマラッキョウ	ユリ							△	★○	○	○	●	
ヤマレルソウ	ムラサキ	△★○											△★11
ヤワラスゲ	カヤツリグサ	★	○										
ユウガギク	キク				△★29				★				
ユキノシタ	ユキノシタ		△★	△★○									
ユキヤナギ 植栽	バラ												△★
ヨゴレネコノメ	ユキノシタ	△★○										△22	△/★19
ヨモギ	キク						△★12	★	○	○	●	●	●
リュウノウギク	キク								★	★○●			
リンドウ	リンドウ							△17	△★4	△★	○	●22	
ワルナスビ	ナス						○						
ワレモコウ	バラ						△★2						

種名	科名	4月8日	5月10日	6月9日	7月8日	8月8日	9月8日	10月9日	11月8日	12月8日	1月8日	2月7日	3月12日
アイアスカイノデ	オシダ		あり	あり									
アイノクマワラビ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	
アスカイノデ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
イヌドクサ	トクサ		あり3	あり	あり	あり							
イヌワラビ	イワテンダ	◇5	あり25	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり			
イノデ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
イノモトソウ	イノモトソウ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
イワガネソウ	ホウライシダ	あり											
オオイタチシダ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
オオバノイノモトソウ	イノモトソウ		あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
オオハナワラビ	ハナヤスリ												
オオベニシダ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	
オクマワラビ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
オニヤブソテツ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
カニクサ	フサシダ						あり13						
クマワラビ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり			
ゲジゲジシダ	ヒメシダ				あり	あり	あり	あり	あり	あり			
コモチシダ	シンガシラ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
シケシダ	イワテンダ							あり		あり			
ジュウモンジシダ	オシダ		あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
スギナ	トクサ												あり19
ナガバヤブソテツ	オシダ									あり	あり	あり	あり
ナツノハナワラビ	ハナヤスリ		あり	あり									
フモトシダ	コバノイシカグマ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
フユノハナワラビ	ハナヤスリ						あり13	あり	あり16	あり20	あり14	あり	
ベニシダ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
ホウライシダ	ホウライシダ	あり					あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
ホシダ	ヒメシダ					あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
ミウライノデ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
ミゾシダ	ヒメシダ		あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
ミドリヒメワラビ	ヒメシダ			あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり		
ヤブソテツ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
ヤマイトチシダ	オシダ	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
ヤマヤブソテツ	オシダ		あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
リョウメンシダ	オシダ	あり		あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

## ……投稿される方へ……

横浜自然観察の森では、レンジャー、ボランティア、研究者、大学生など多くの人によって、各種の調査が行なわれています。そこで、日本野鳥の会レンジャーがこれらの結果を毎年調査報告書としてまとめ、調査活動、自然解説を行なう上での資料として活用できるようにしています。つきましては、下記の要領で調査の報告を提出して下さいますよう、お願いいたします。

### ■調査報告書の目的■

横浜自然観察の森で行われているすべての調査活動・調査項目・調査場所・調査者のリストアップと、調査により得られた情報の公開、共有。

### ■投稿内容■

横浜自然観察の森または円海山緑地に関わる調査、および横浜自然観察の森のボランティアが行った調査(他の場所でもOK)の活動報告とその結果。生物や自然だけでなく、アンケート調査、自然解説の手法の効果測定なども対象とします。2009年度の調査だけでなく、過去の調査の報告でもかまいません。

■形式■「かんたんな報告」と「くわしい報告」の2種類あります。どちらか一方をお書き下さい。

■〆切■ 2011年3月15日 当日が調査期間中等にあたり、提出が難しい方は、ご連絡ください。

### ■投稿先・問い合わせ連絡先■

横浜自然観察の森 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL : 045-894-7474 FAX :045-894-8892

E-mail: ishinabe@wbsj.org 石鍋まで(ご不明な点はお気軽にご連絡ください。)

## 「かんたんな報告」の書き方

1. 次ページの書式に沿って、書ける項目だけ記入して下さい。
2. 「調査者」の欄には、必ず氏名を書き、氏名の後に( )で所属を書いて下さい。  
例:藤田 薫(横浜自然観察の森友の会・ヤマガラ大好きプロジェクト)  
調査者が複数の時には、全員の氏名を書いて下さい。
3. 図や表は「方法」や「結果」の欄に切り貼りしても、最後にまとめて添付されても構いません。
4. 原稿はプリントアウトしたものを送っていただくか、Excel 形式で入力したものを添付ファイルでお送り下さい。
  - ・手書きの方は、紙が足りないときには、コピーして使って下さい。
  - ・コンピューター等を使い自分で枠を作って打ち込む方は、A 4 縦置きで、上 3cm、下 4cm、左

右 2.5cm の余白をとってください。各項目の行数は、変更して構いません。  
横浜自然観察の森調査報告 16 (2010)

<b>調査名</b>
<b>調査者名(所属)</b>
<b>調査場所</b>
<b>調査日</b> 年    月    日
<b>調査開始</b> 年    次年度    継続／終了 <b>終了予定</b> ー    年
<b>調査目的</b>
<b>調査方法</b>

**調査結果**

**引用した本・文献**

## 「くわしい報告」の書き方

### 提出方法について

Word形式で原稿を保存したフロッピーディスクを郵送、または、Word形式でメールにてお送りください。

図は、A4サイズ用の紙に書いて郵送、または、ExcelかWord形式でメールにてお送り下さい。編集の手間を省くため、図は、本文の最後にまとめて載せさせていただきますので、ご了承下さい。

### 1. 全体について

報告は、できる限り短く書いて下さい。図や表もできるだけ少なくします。

表よりは図で表現する方がよいと言われています。図であれば、一目で理解できることも、表になると理解するのに時間がかかってしまうからです。

### 2. 構成について

(1) タイトル／ 調査の内容についてわかるようなタイトルをつけます。

(2) 著者名と著者の所属・連絡先住所／

(3) はじめに／ 観察や調査を行なった動機・目的を書きます。同じテーマで、過去に行われた調査では、どこまで明らかになっているかなども、ここに書きます。

(4) 調査地と調査方法／

調査地について簡潔に書きます。調査地の環境については、報告のテーマに関係ないときには簡潔に、テーマに関係あるときにはくわしく書きます。

調査期間として、何年の何月から何月まで観察したかを書き、合計観察時間や日数も入れます。調査方法としては、どのように調査したかを、他の人が、同じ方法で繰り返し同じ調査ができる程度に詳しく書きます。

(5) 結果／ 自分の調査でわかったことを書きます。

(6) 考察／ 自分の結果から考えられる結論だけを書くようにします。自分の調査でどうしてそういう結果になったのかを、他の研究を引用しながら、考察したり、他の研究と結果を比較したりします。

(7) 謝辞／ 調査を手伝ってくださった方、調査計画をたてる時や論文を書く時に相談にのってくれた方や、助成金をもらっている場合は、どこからもらったのかを明記し、謝辞をのべます。

(8) 要約／ 短くまとめて論文内容全体の紹介をする場所です。自分の調査の結果どんなことがわかったのかをできるだけわかりやすく、短くまとめます。

(9) 引用文献／ 報告の本文中で引用した文献を、すべて書きます。

雑誌の場合：著者名，発表年．論文表題．掲載雑誌名 巻号：ページ．

本の場合：著者名，発表年．表題．総ページ数，発行所，発行地．

## ・・本調査報告書を利用・引用される方へ・・・・・・・・

個人が研究論文などの著作物に引用する場合は、必ず出典を明示して下さい。行政または調査会社が、業務として作成する報告書などに引用する場合は、必ず事前に引用の許可を求めて下さい。場合によっては、引用をお断りする場合もありますので、ご了承下さい。

また、表やグラフを引用する場合は、改編などはせずに、そのまま引用するようよろしくお願いいたします。

# 横浜自然観察の森調査報告 15

2010年8月発行

編集・発行／（財）日本野鳥の会 サンクチュアリ室

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL 03-5436-2634 / FAX 03-5436-2635

ホームページ URL : <http://www.wbsj.org>

（編集者 : サンクチュアリ室 横浜自然観察の森担当 石鍋慎也）

連絡先／横浜自然観察の森

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL 045-894-7474 / FAX 045-894-8892

ホームページ URL : <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

E-mail : [yokohama-nc@wbsj.org](mailto:yokohama-nc@wbsj.org)

＊＊無断転載を禁じます＊＊